

みんなで作る、折り紙のカラー月刊誌

おりがみ

122

特集

いろいろな
かお



ノアちゃんの物知り教室

おりがみギャラリー

第6回世界折紙展出品作品より

豊かな情操と創造力を育む、世界文化社の月刊保育絵本。

株式会社 世界文化社
東京都千代田区九段北4-2-29
TEL 03(262)5111-1102

日本のむかしばなし
団体購読定価 400円

名作絵みつく
団体購読定価 300円

しぜんのせかい
団体購読定価 700円

おはなしらんど
団体購読定価 250円



かがくらんど
団体購読定価 250円

ジュニアランド
団体購読定価 250円

ワンダーランド
団体購読定価 250円

ワンダーブック
団体購読定価 250円

外国への“おみやげ”に最適
初級講師の資格も取得できる

折り紙のテキスト

◆ このテキストの特徴 ◆

日本・スペイン・フランス・イギリスの4か国語解説付です。
折り紙をはじめたい内外の人々に最適の入門書です。
外国へのおみやげとしても大変喜ばれます。
折り紙教室の教材として活用できます。
初級講師の資格が取得できます。



※お申し込みは、誌代に送料を添えて下記へ……

〒102 東京都千代田区五番町12 ドミール五番町 1-096 日本折紙協会事務局

(なお、送金方法は本誌巻末に同じ込みの郵便振替用紙をご利用ください。)

国内価格 980円
送料 250円

折り紙の輪を世界に広げるために、

わたくしたちも協力しています

(株)アベ グリム事業部

池田長禧

石川紙業(株)

井上紙業(株)

岩下治郎

(有)エイト

エヒメ紙工(株)

大阪帝塚山ライオンズクラブ

(株)押上紙器印刷

木邨紙業(株)

(株)クラサワ

(株)小松原梱包

(有)近藤紙工

サントリー(株)

四国紙業(株)

(株)若越

(株)スズキ紙工業

(株)世界文化社

ダイニツク(株)

大与紙工(株)

(株)竹尾

風の博物館

土浦聖母幼稚園

天理教少年会本部

(株)東京印書館

東京都紙製玩具工業協同組合

東洋紙工(株)

東洋パルプ(株) 陶紙普及会

中村紙工(株)

(株)ニッポー

林商会

福田恵日

(株)平凡社

北越製紙(株)

真下政子

松本印刷(株)

丸井紙製玩具製作所

御国色素(株)

三菱信託銀行(株) 大宮支店

(株)深山

武蔵野冷蔵(株)

モキチ・オカダ文化財団

(株)ゆしまの小林

吉森ホイル(株)

(株)若木書房

(株)渡辺染紙工所

(50音順)

暑い夏も終わり、勉強やスポーツ、そして折り紙にピッタリの季節になりました。さて、今月は、テレビやマンガでおなじみの人気者も登場する“いろいろな顔”の特集です。あなたに似た顔はあるかな？ ノアちゃんのもの知り教室もお楽しみにね！

もくじ

特集 いろいろな がお

☆てんぐのめん.....	川村加奈子	4
☆ウルトラマン.....	萩原高利	5
顔.....	ポール・ジャクソン	6
アンパンマン.....	半田丈直	8
ピエロ.....	西川誠司	13

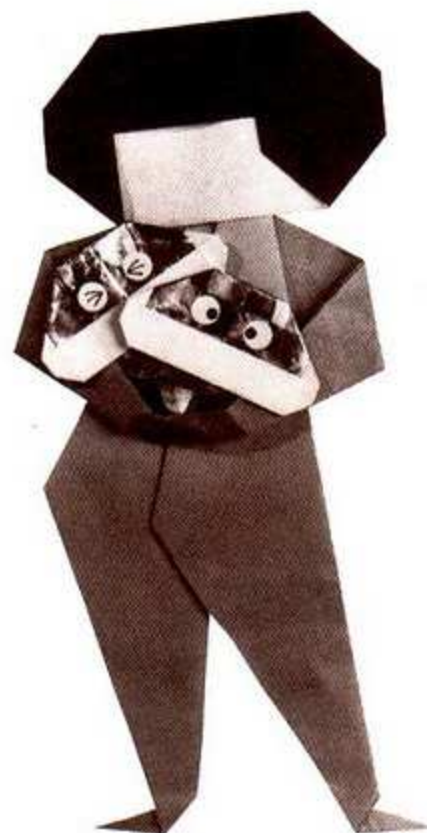
連載 古典にみる折り紙〈9〉 高木 智 14
「絵本 青樓美人合」(えほんせいろうびじんあわせ)

みんなでつくった壁面のページ—— 18

ノアちゃんのもの知り教室〈4〉
月刊誌“おりがみ”のできるまで〈1〉—— 20

NOA おりがみガーデン

作品紹介(写真).....		22
☆宇宙人(土星ちゃん).....	石橋美奈子	23
アポロートル.....	石橋美奈子	24



つどいの部屋 第12回
赤塚折り紙同好会(東京都)—— 27

おりがみ広場—— 28

おりがみ頭の体操〈クロスワードパズル〉 29

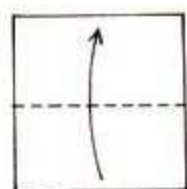
おりがみギャラリーNo.68

第6回世界折紙展出品作品より
.....海外からの作品紹介II—— 30
お知らせ、他—— 32

折り方の記号

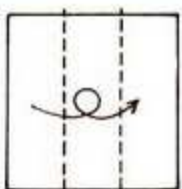
SYMBOLS

次の記号によって折り方が示されていますので皆さんもおぼえてください。



谷折り

VALLEY FOLD



まくまたは同じ方向にくり返し折る

FOLD OVER AND OVER



仮想線(元の形または次の形などを示す)

PREVIOUS POSITION



表に折る

FOLD IN FRONT



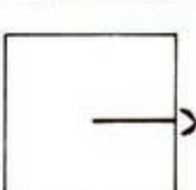
裏へ折る

FOLD BEHIND



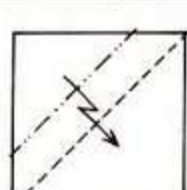
山折り

MOUNTAIN FOLD



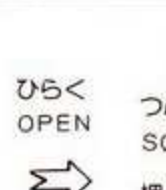
切りこみをいれる

CUT



段折り

FOLD AND FOLD



ひらく

OPEN



つぶす

SQUASH



押しこむ

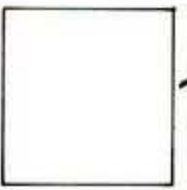
PUSH IN

図を拡大する

ENLARGE

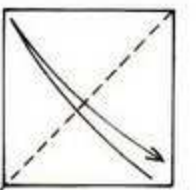
図を縮小する

REDUCE



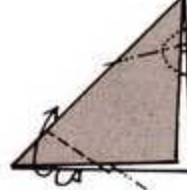
裏がえす

TURN MODEL OVER



折り筋をつける

FOLD AND UNFOLD TO CREASE

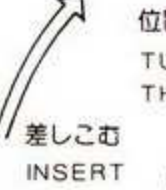


中わり折り

REVERSE FOLD

かぶせ折り

REVERSE FOLD



位置の転換

TURN THE MODEL



差しこむ

INSERT



ひきだす

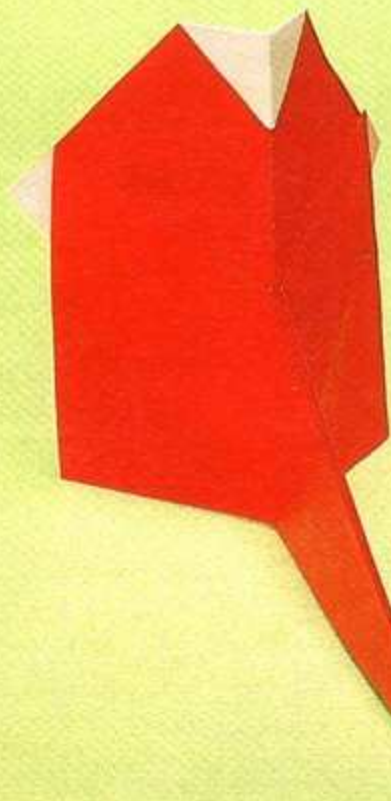
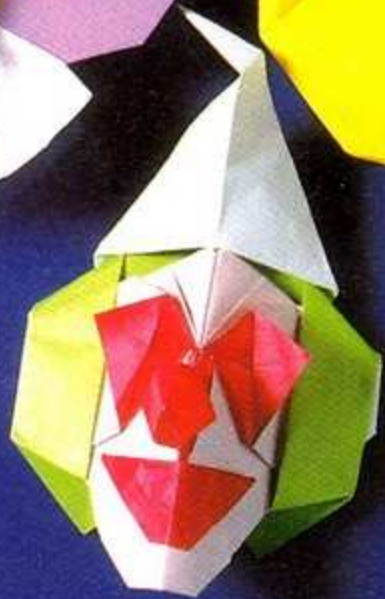
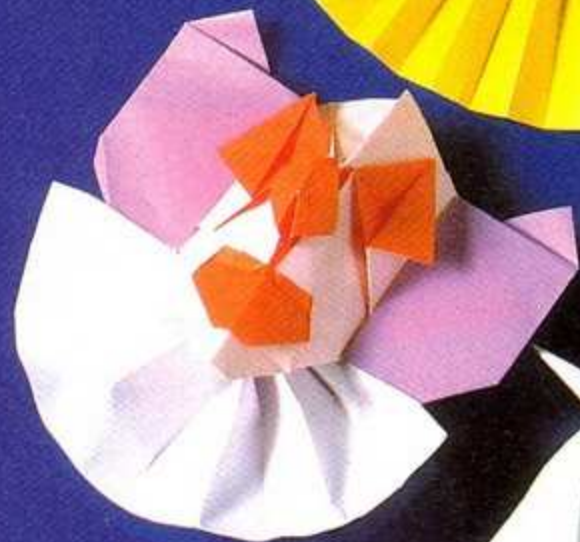
PULL OUT



ふくらます

BLOW UP

特集



© 丹谷アロ、TBS

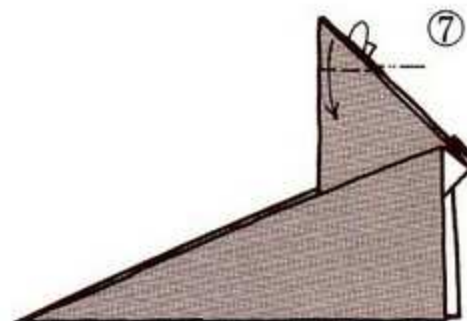
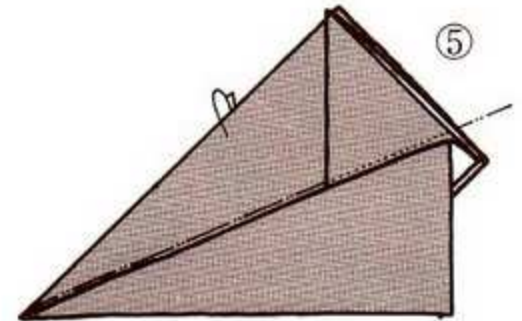
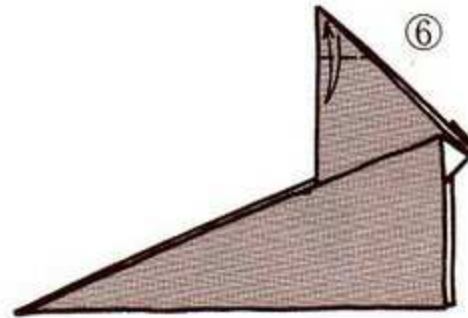
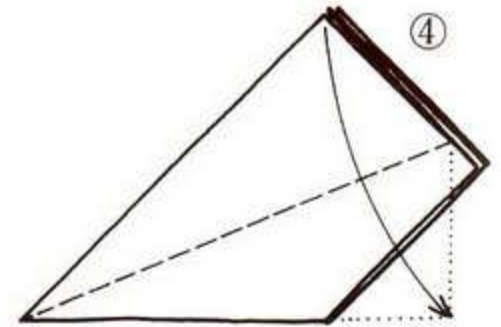
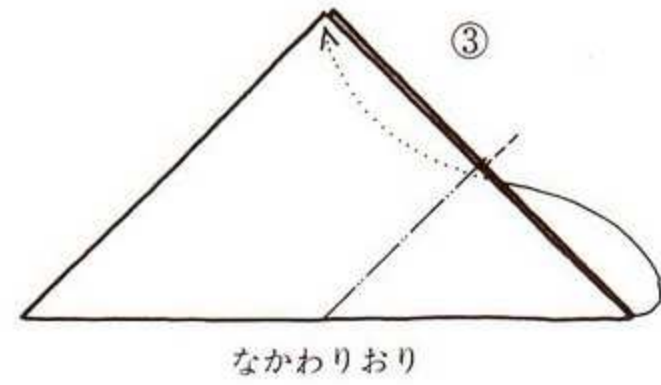
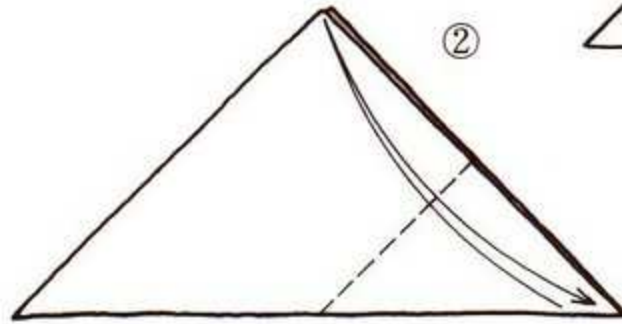
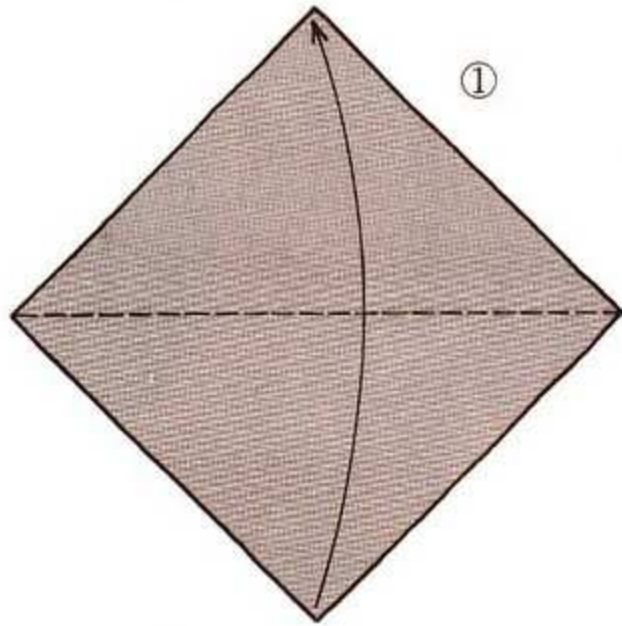


☆ てんぐのめん

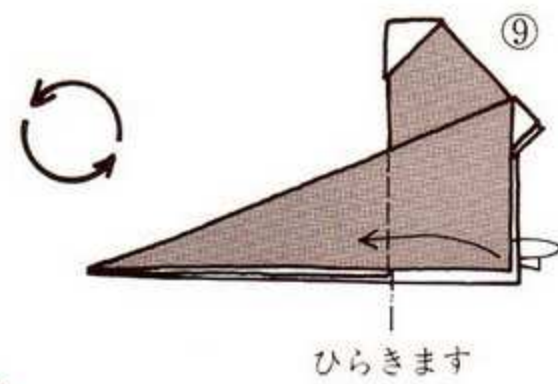
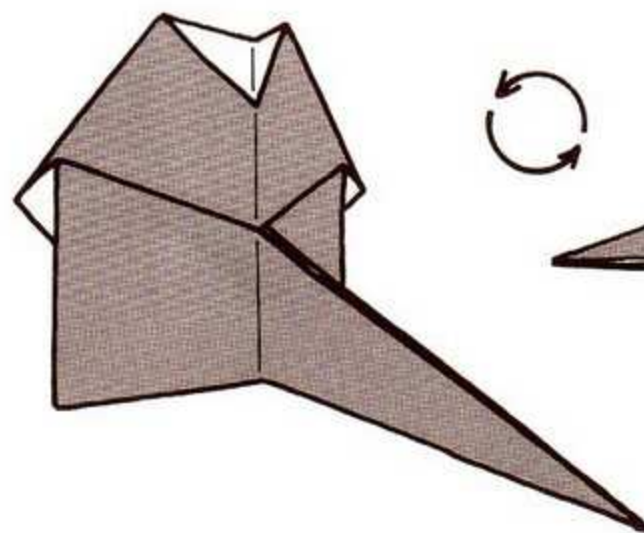
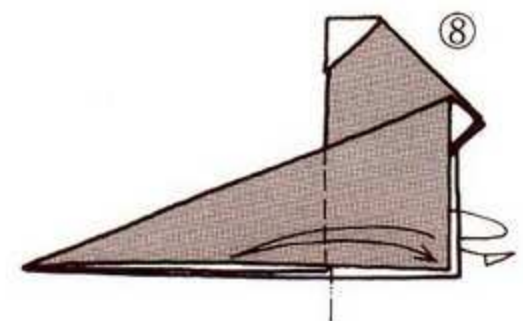
川村加奈子

Long-nosed mask

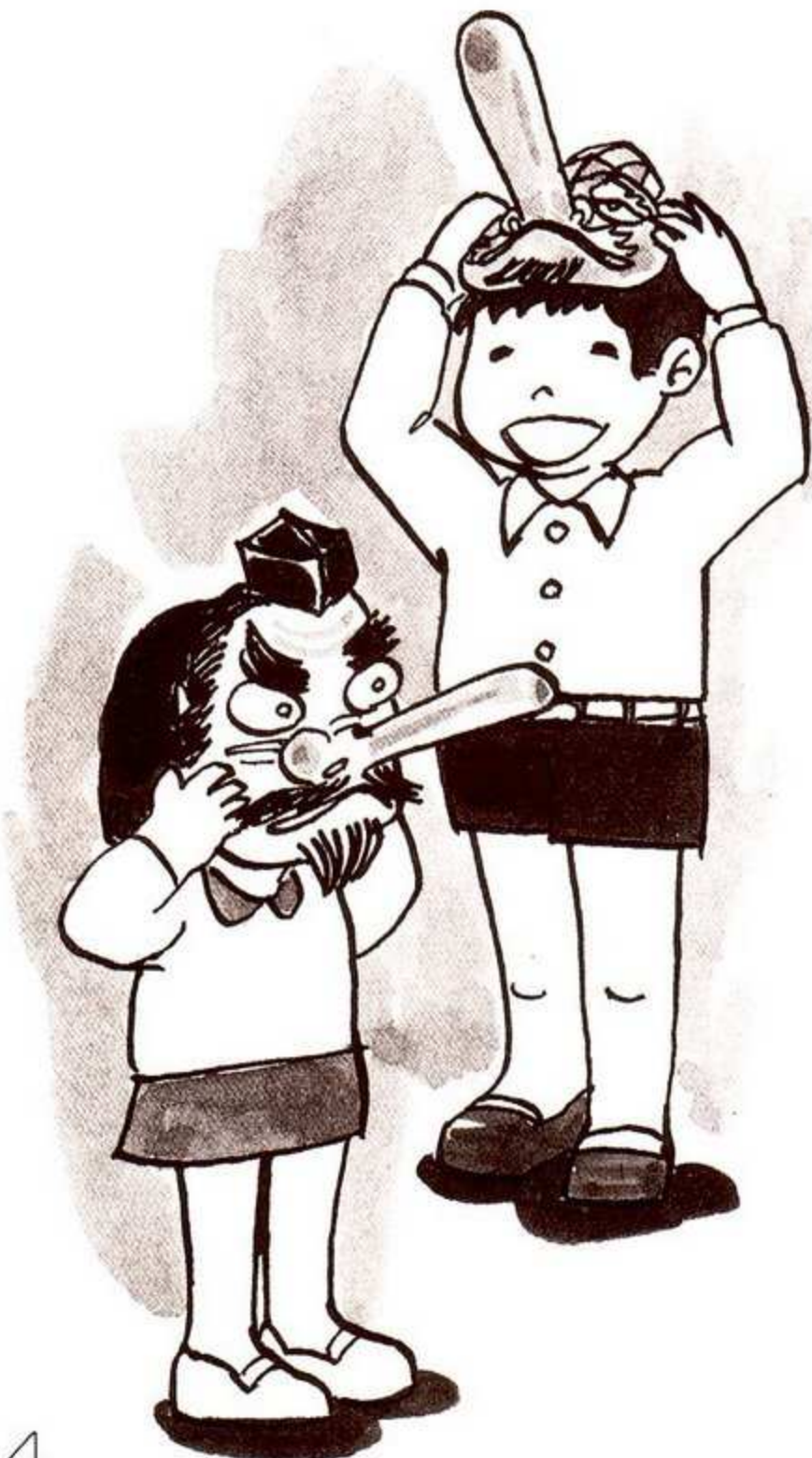
by Kanako Kawamura



かぶせおり



ひらきます

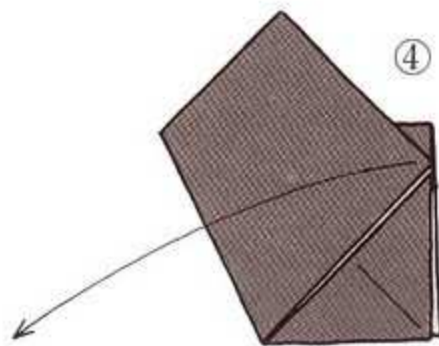
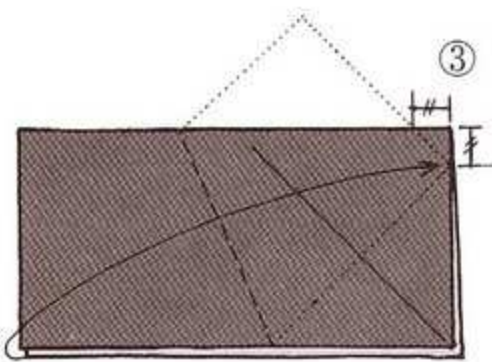
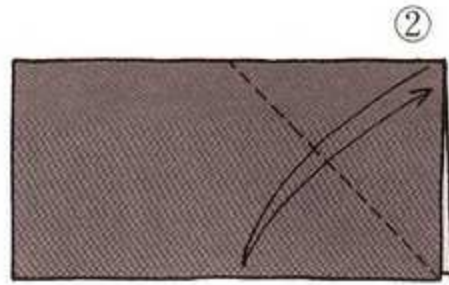
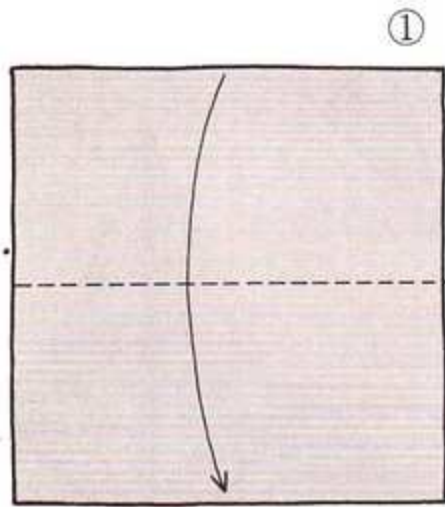


かお 顔

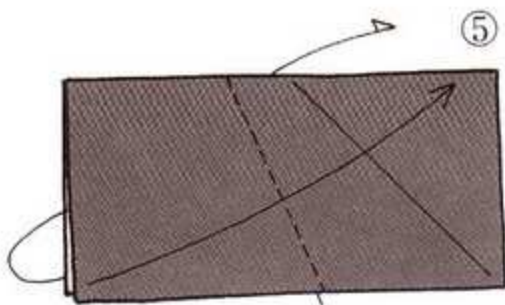
ポール ジャクソン (イギリス)

Face

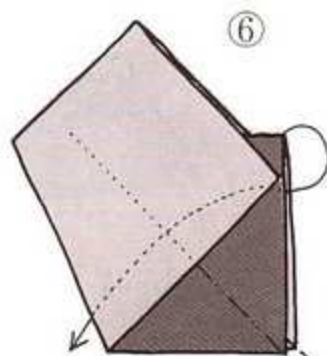
by Paul Jackson (England)



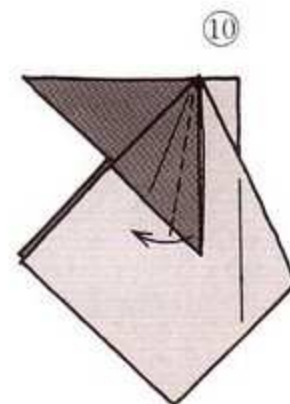
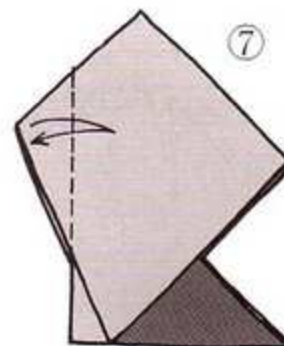
もどします



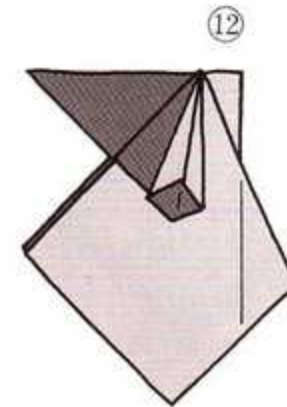
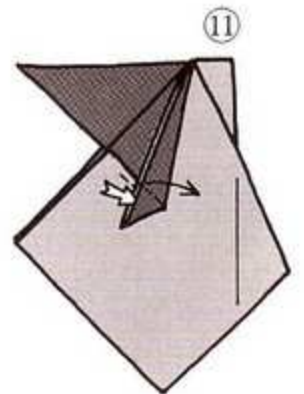
かぶせおり



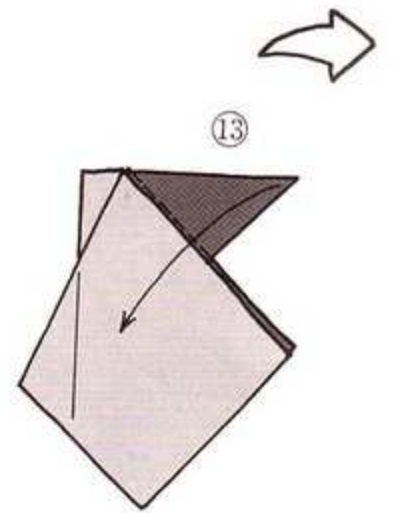
なかわりおり

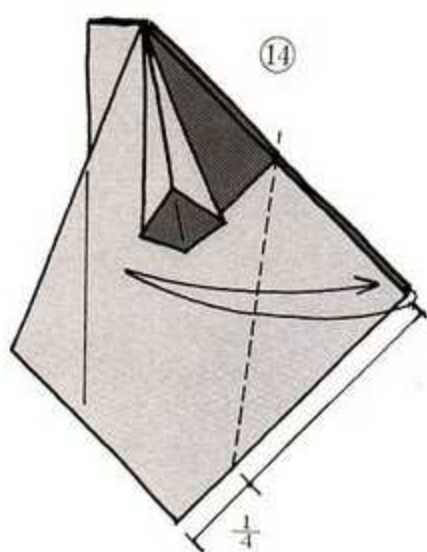


ひらいてつぶします

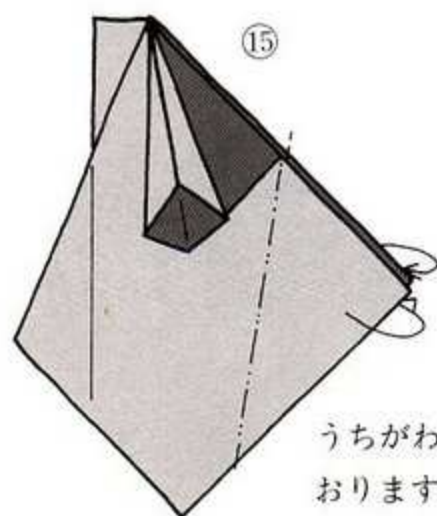


はんたいがわもおなじ



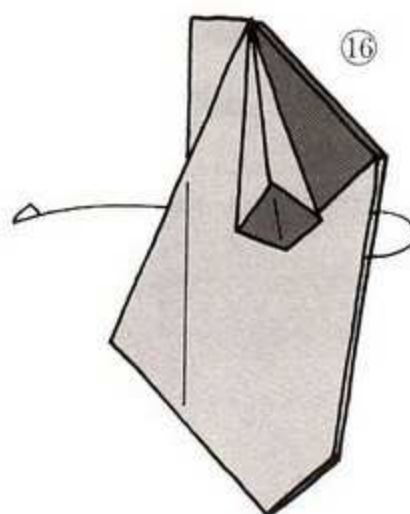


⑭



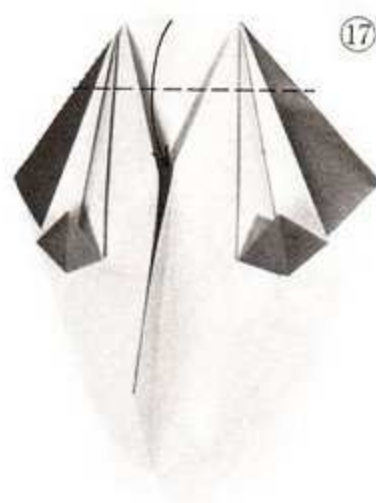
⑮

うちがわに
おります

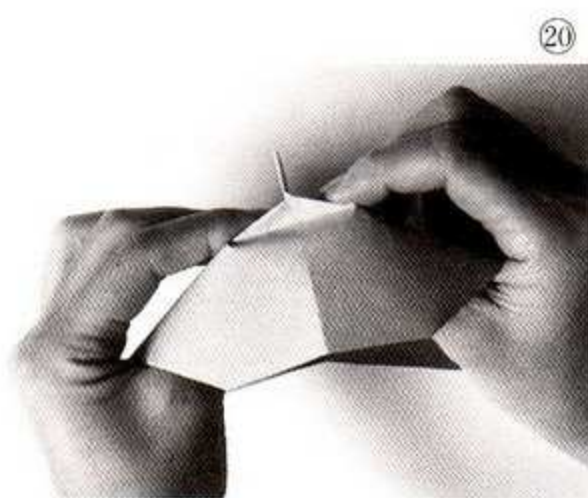


⑯

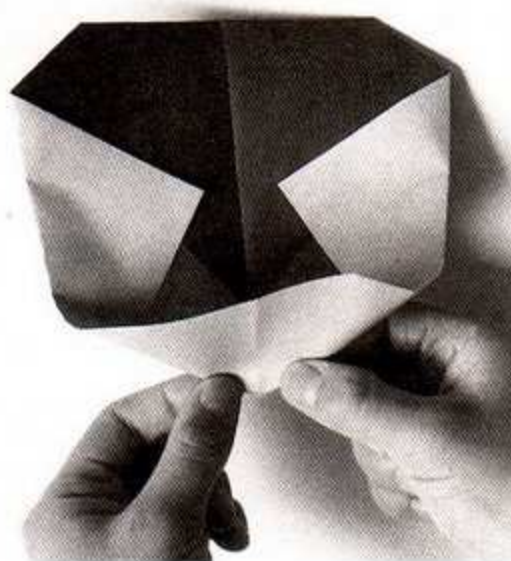
ひらきます



⑰



⑳

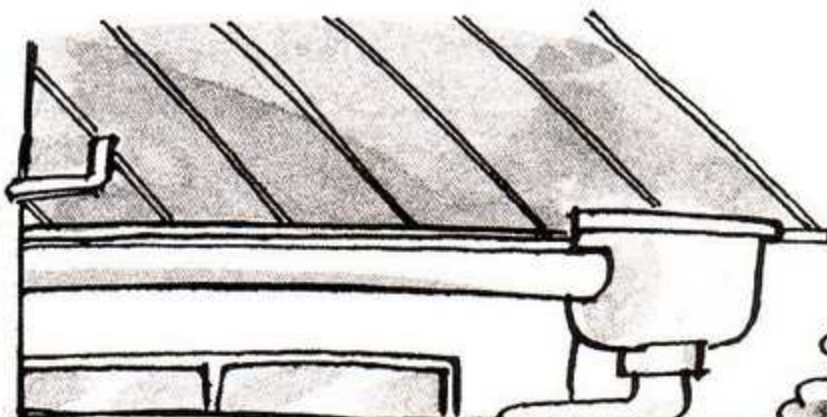
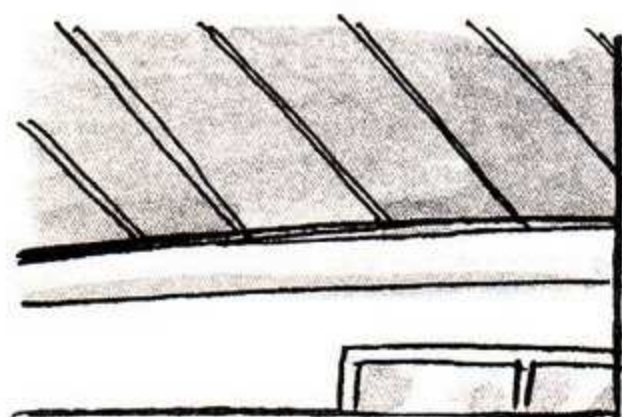


⑱



⑱

つまむようにして
おります



アンパンマン

半田丈直

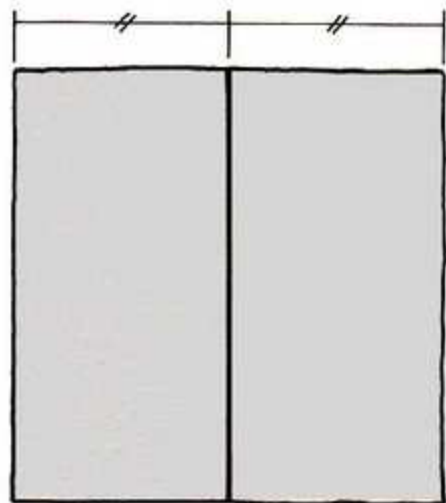
© やなせ・たかし、フレーベル館

ANPAN-MAN

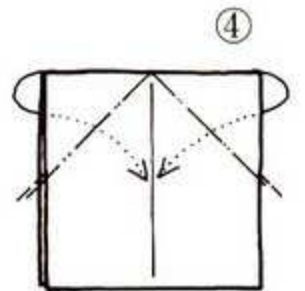
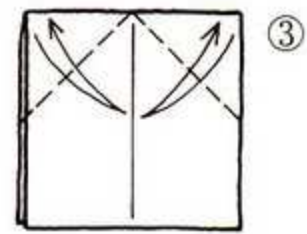
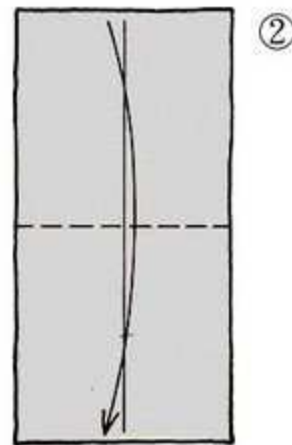
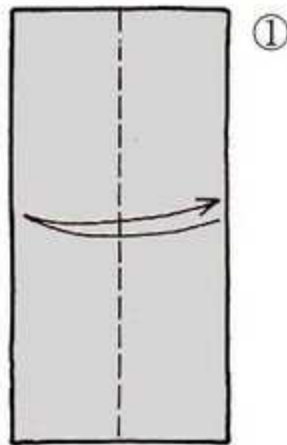
by Takenao Handa

アンパンマン

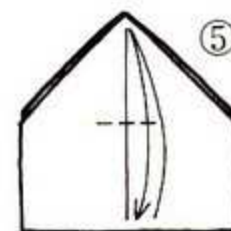
ANPAN-MAN



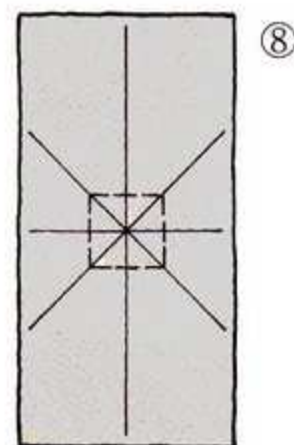
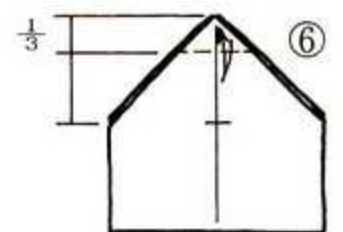
切りとります



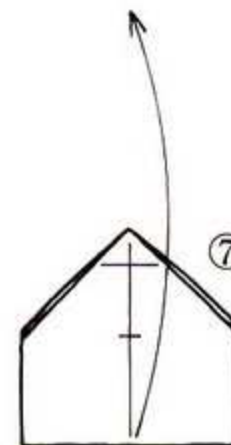
なかわりおり



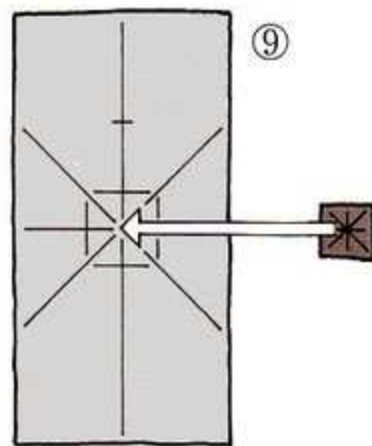
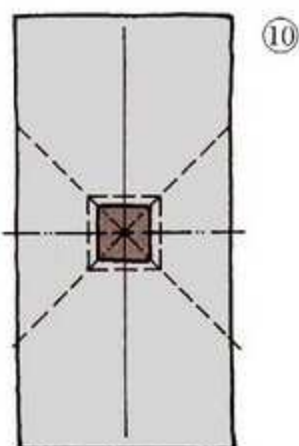
しるしをつけるていどに
おりすじをつけます



図のように
おりすじせんを
つけます

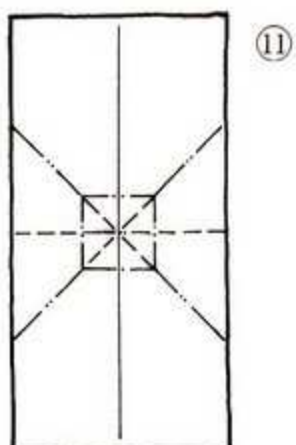


ひらきます

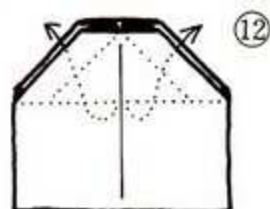


鼻のふぶんに別の色の
紙をおきます

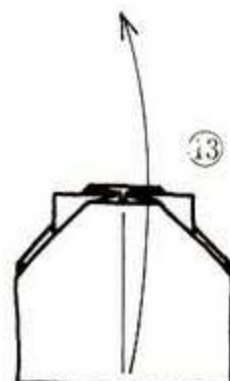
うらからみたところ



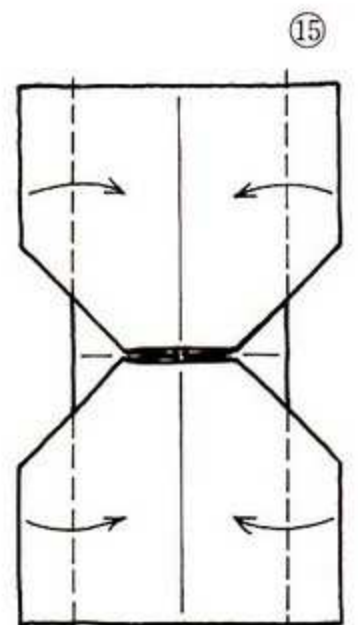
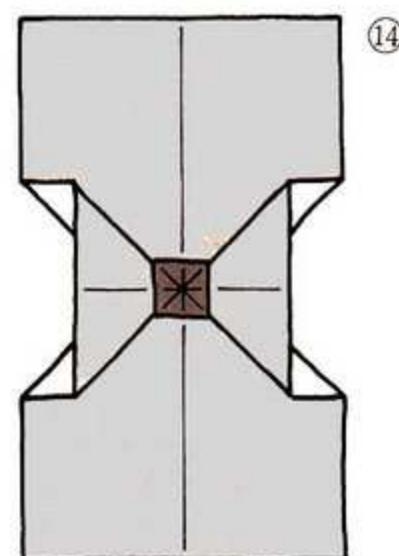
おりすじせんのとおりに
おりたたみます



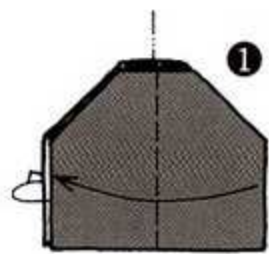
なかわりおり



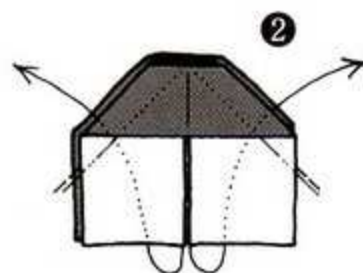
なかの三角を
つぶしながら
ひらきます



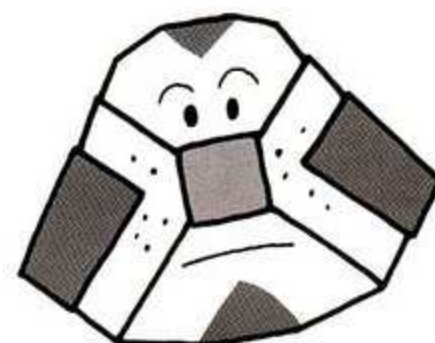
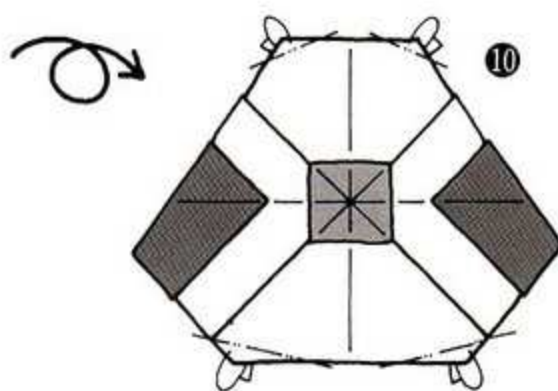
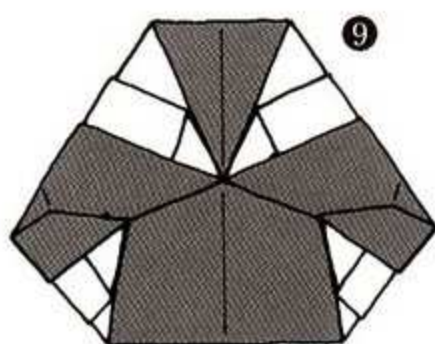
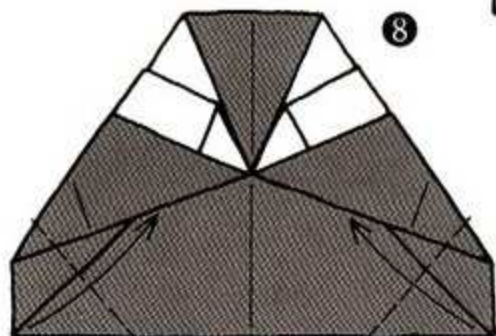
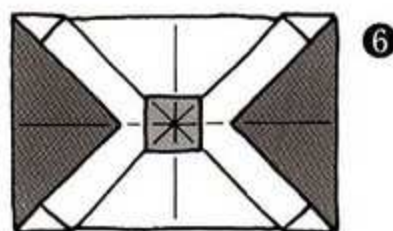
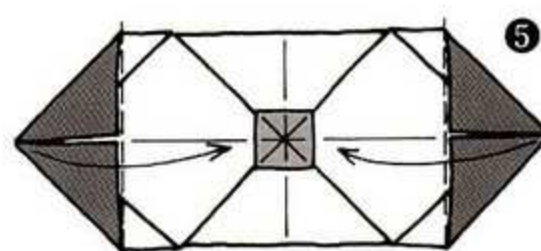
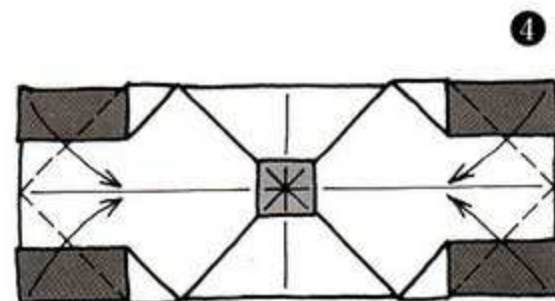
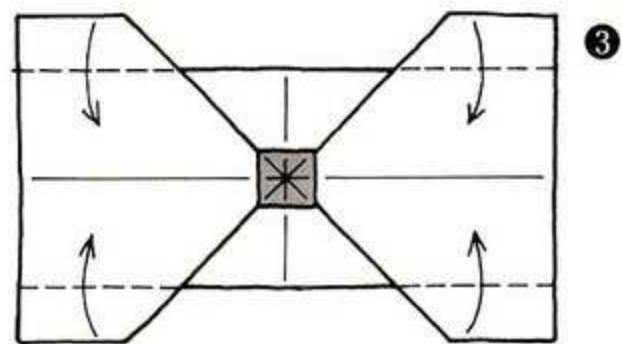
おむすびまん OMUSUBI-MAN



アンパンマンの
⑫より



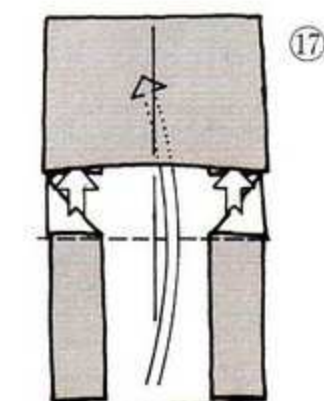
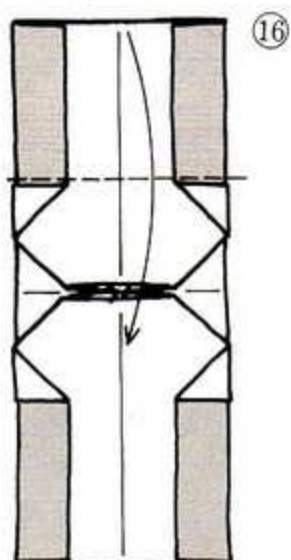
あとはアンパンマンの
⑫～⑭とおなじ



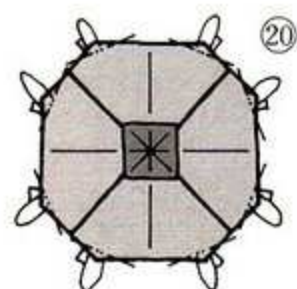
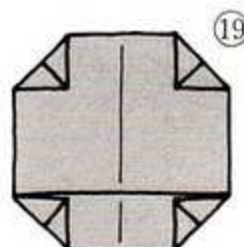
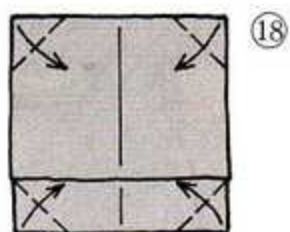
顔と上下ののりをかきましょう



顔を
かきましょう

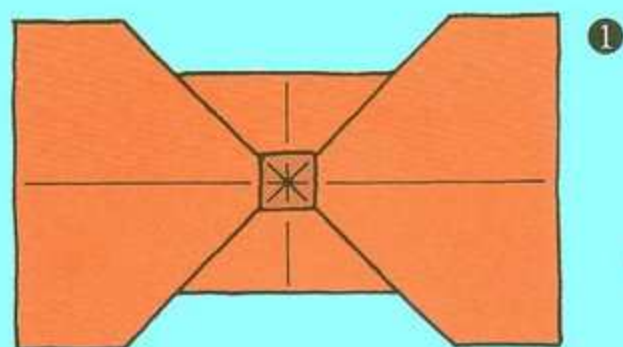


おってさしこみます



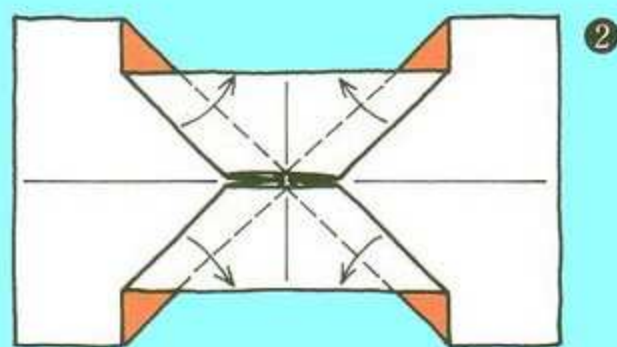
カレーパンマン

CURRYPAN-MAN

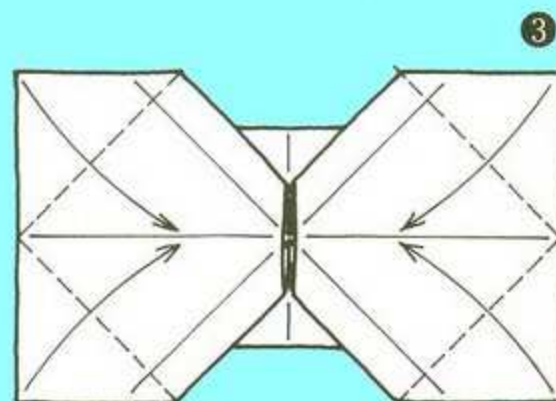


①

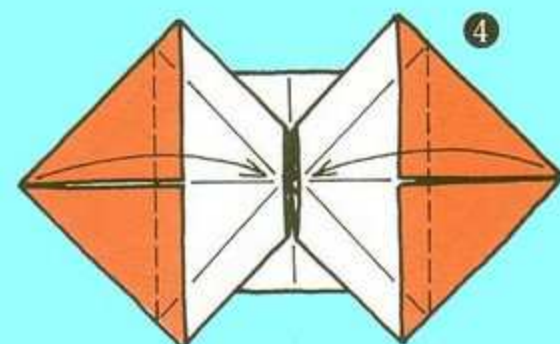
おむすびまんの③より



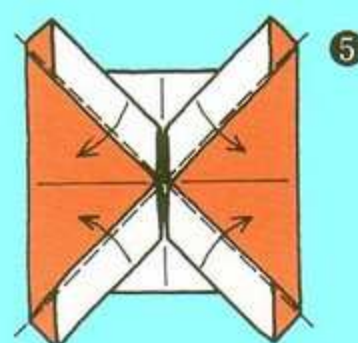
②



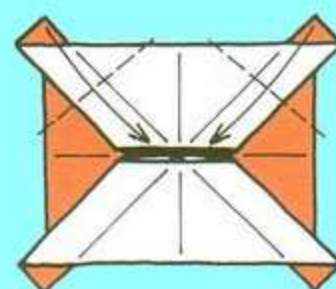
③



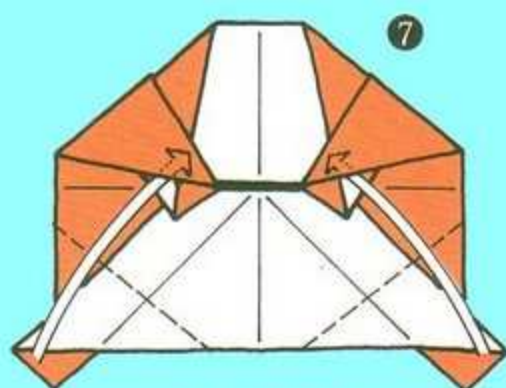
④



⑤

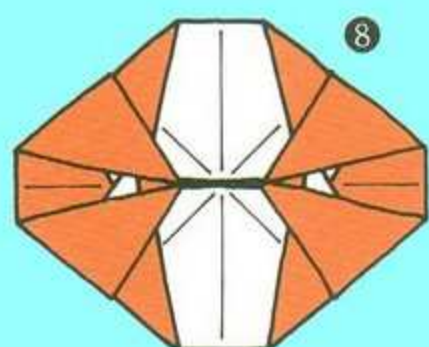


⑥

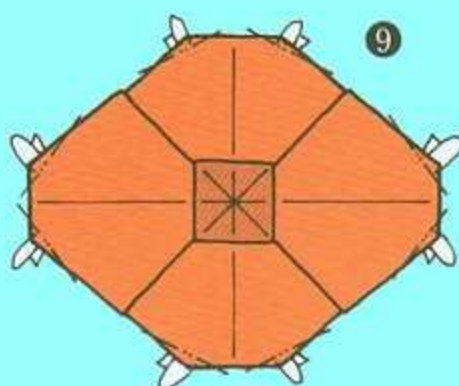


⑦

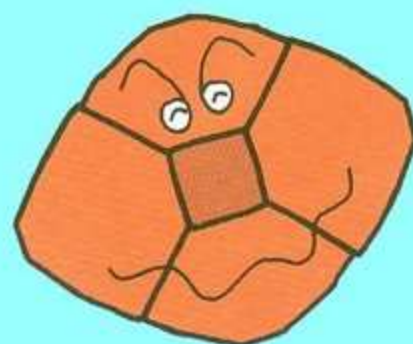
さしこみます



⑧



⑨

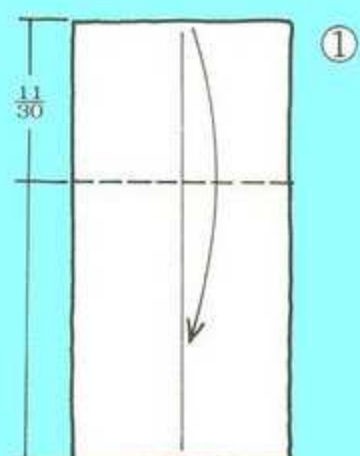


顔をかきましょう

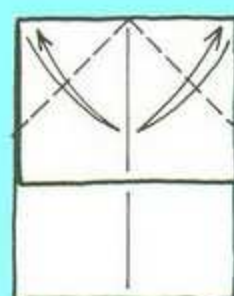
ジャムおじさん

JAM-OJISAN

両面白い紙でおります

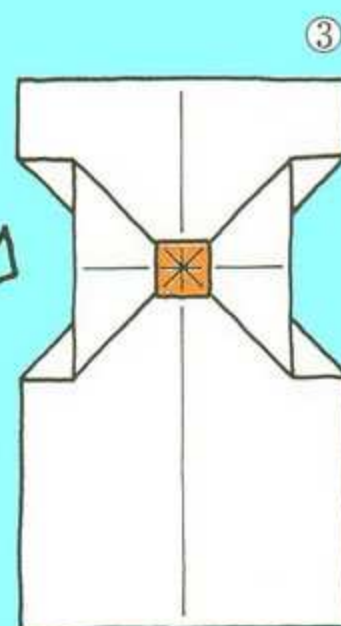


①

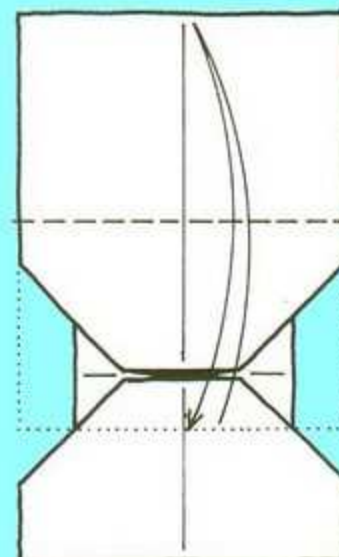


②

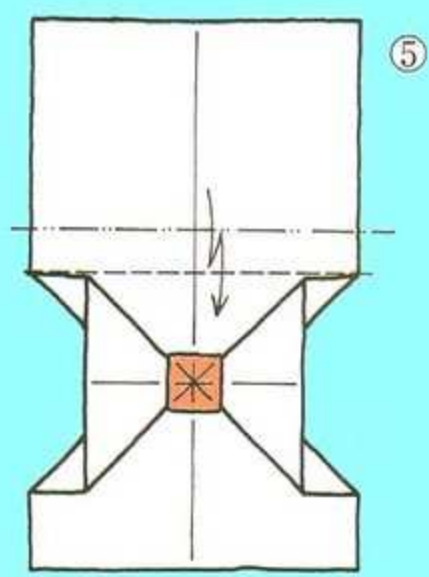
アンパンマンの
③~⑭とおなじ



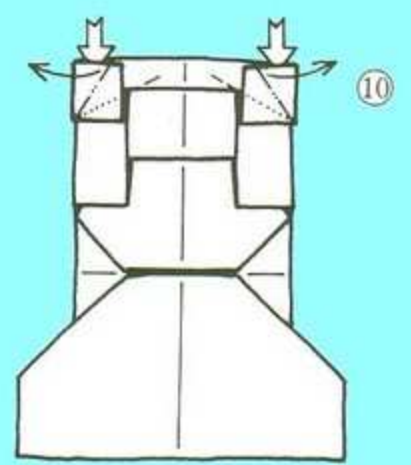
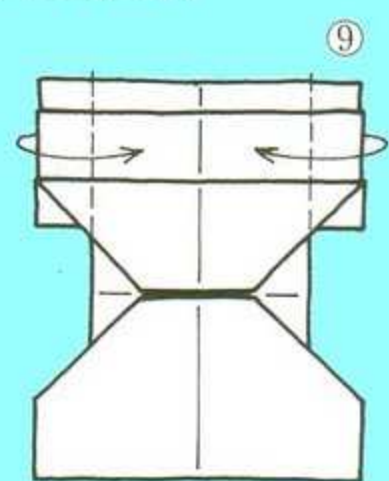
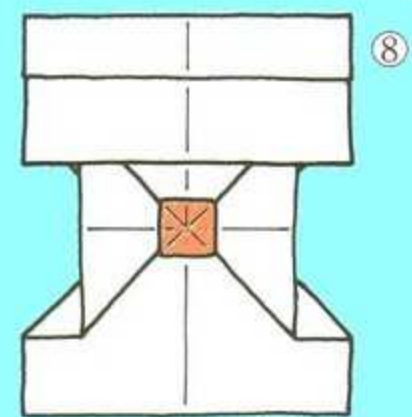
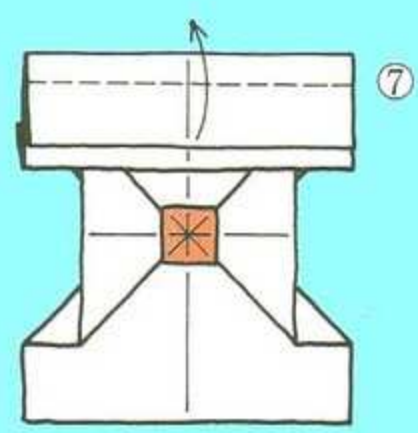
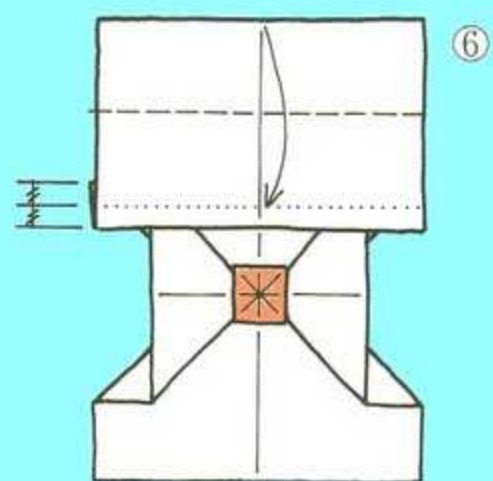
③



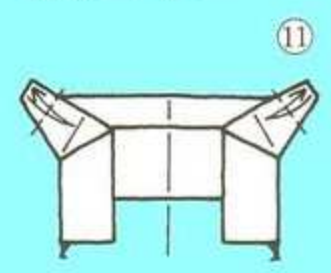
④



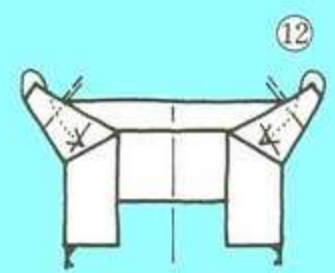
だんおり



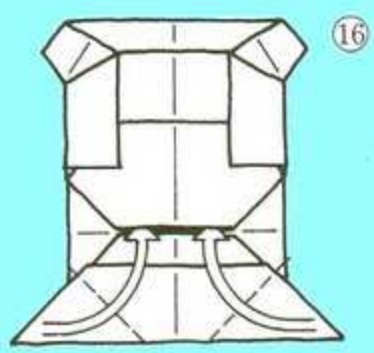
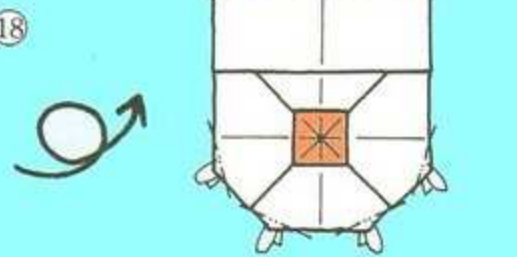
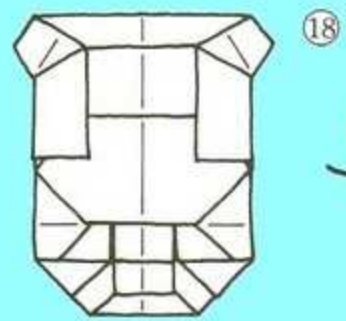
ひらいて
おりたたみます



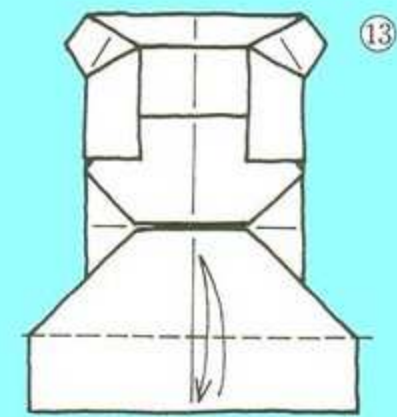
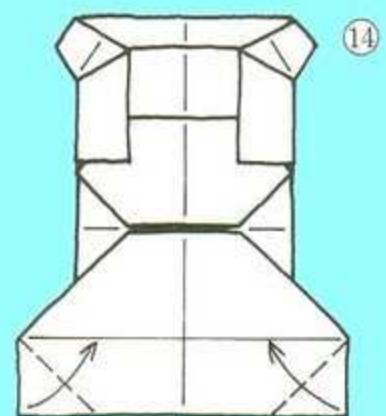
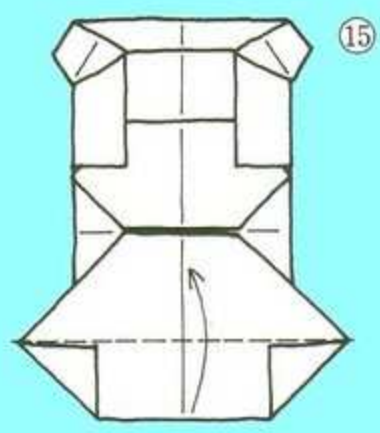
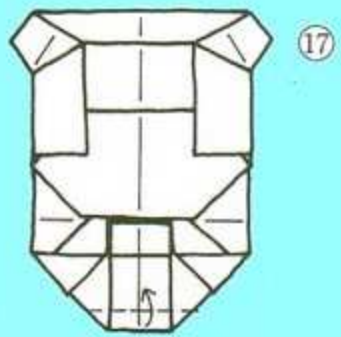
なかわりおり



顔を
かきましょう

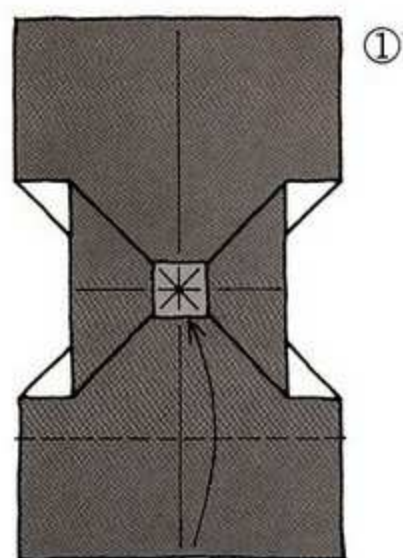


さしこみます

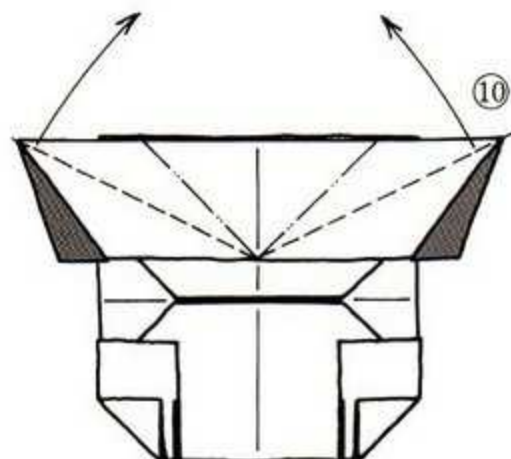
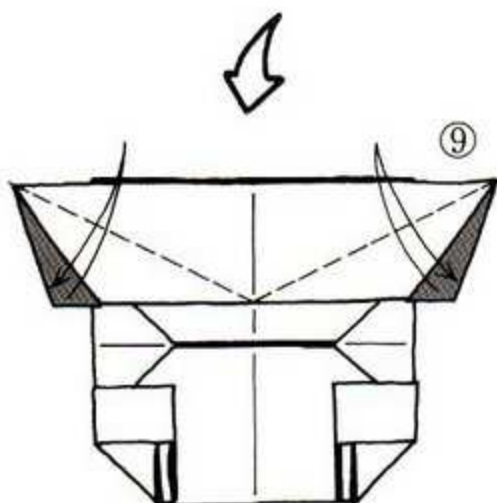
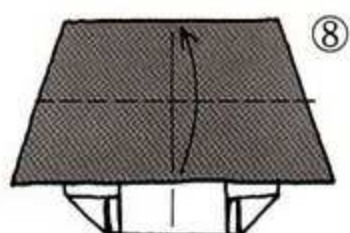
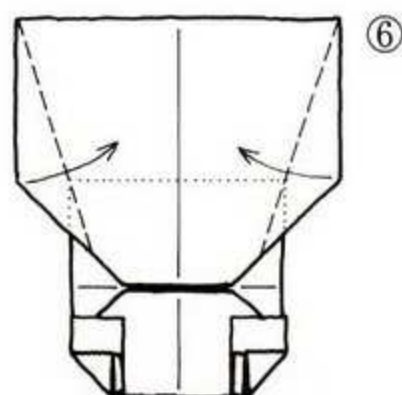
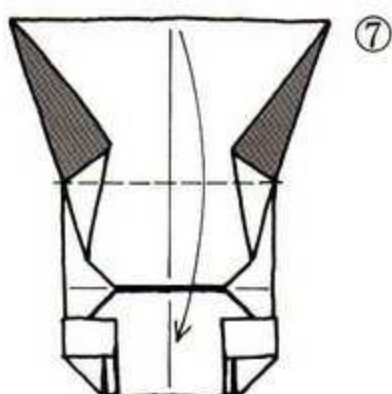
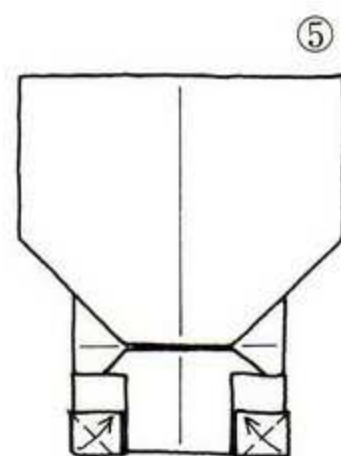
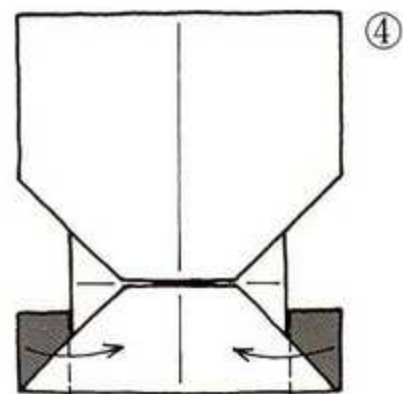
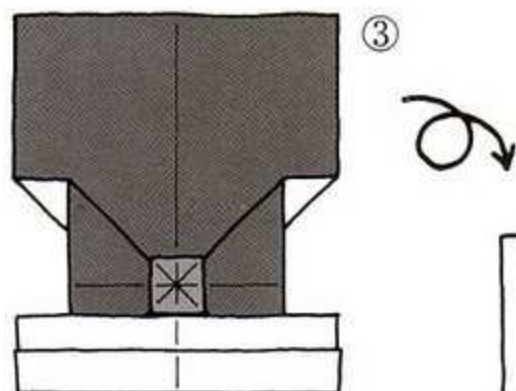
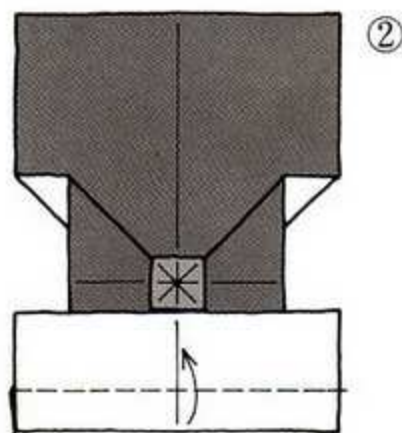


ばいきんまん

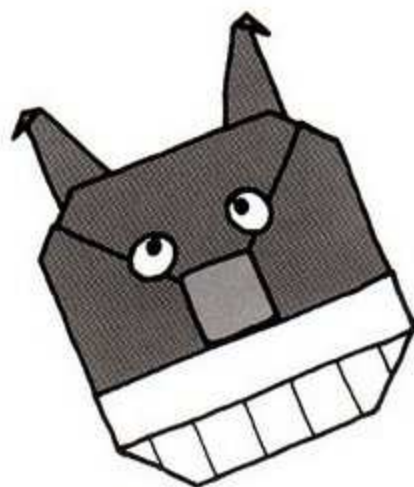
BAIKIN-MAN



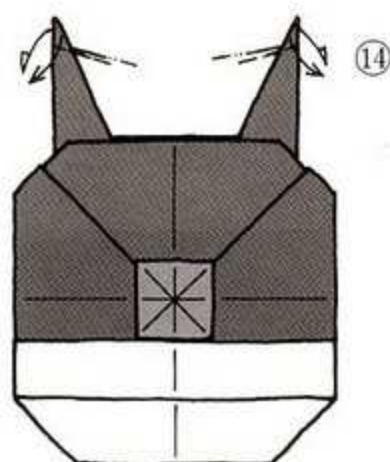
アンパンマンの⑭より



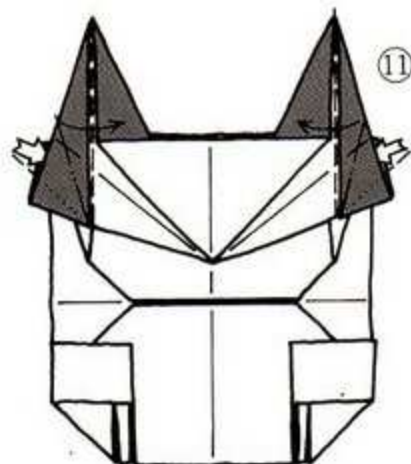
おりすじせんのおりに
おりたたみます



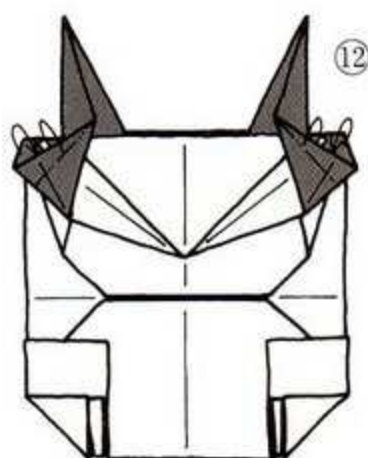
顔をかきましょう



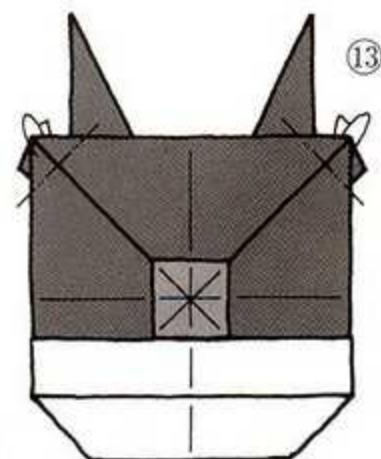
かぶせおり



ひらいて
おりたたみます



それぞれうちがわに
おります



参考図書:「アンパンマン ミニブックス」
フレーベル館 発行
やなせ・たかし 著

ピエロ

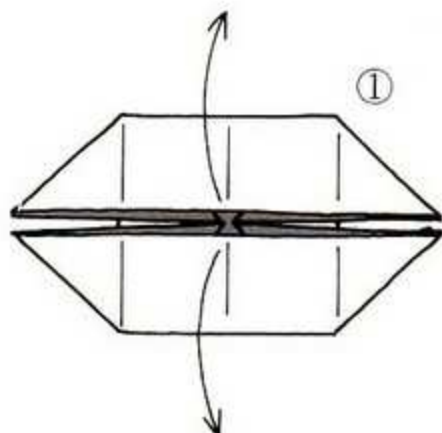
西川誠司

Pierrot

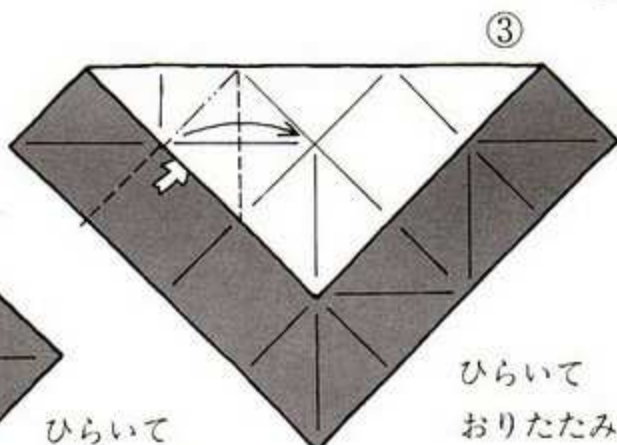
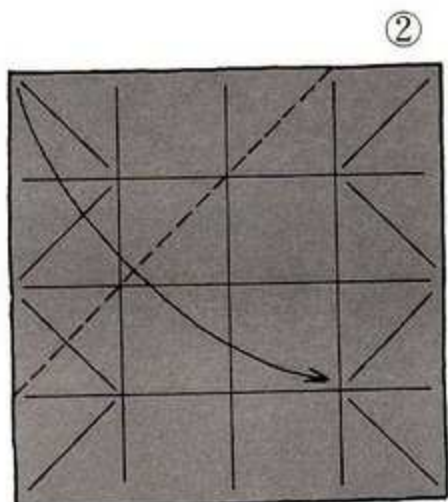
by Seiji Nishikawa

かお

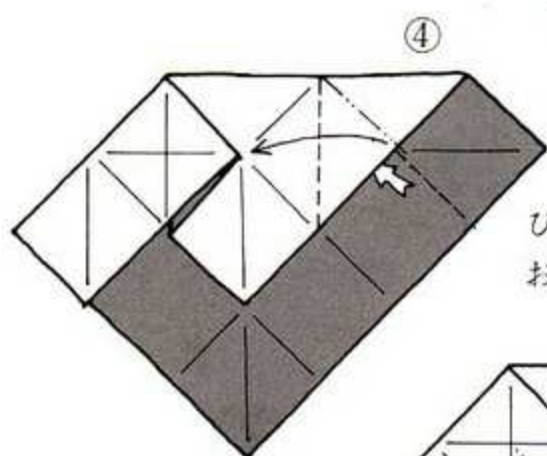
Face



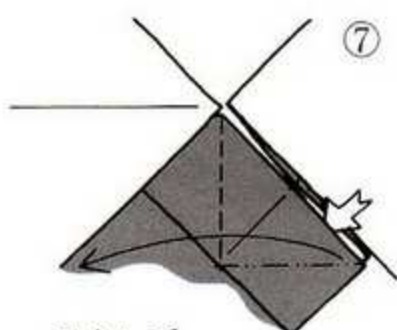
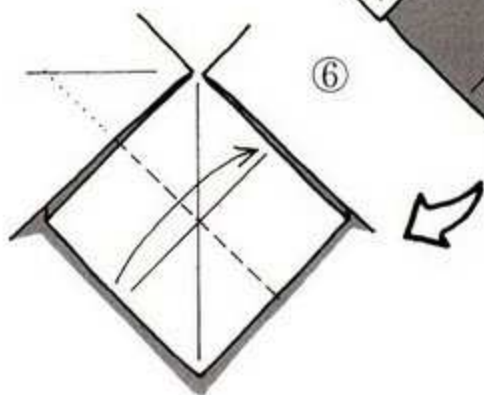
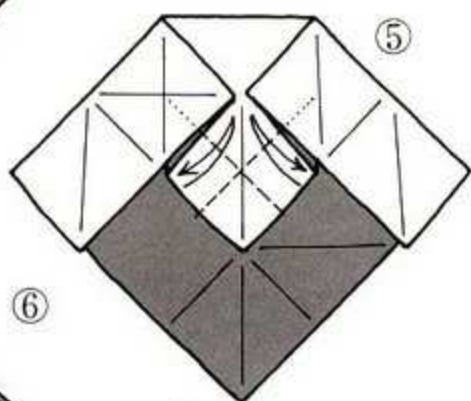
にそうふね基本形より
ぜんぶひらきます



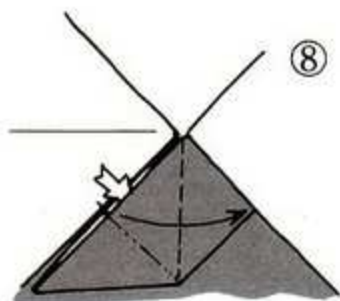
ひらいて
おりたたみます



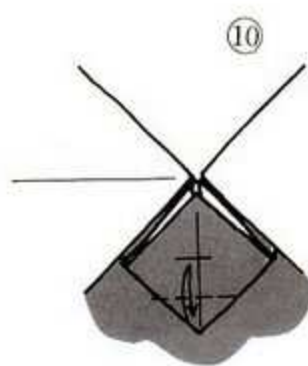
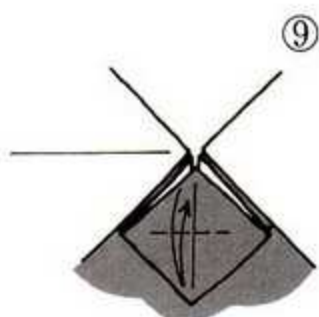
ひらいて
おりたたみます



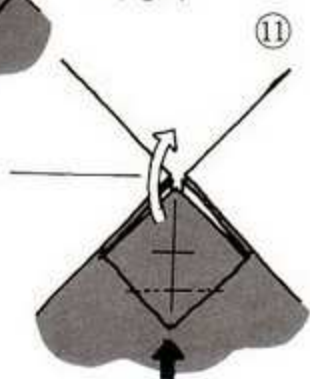
ひらいて
おりたたみます



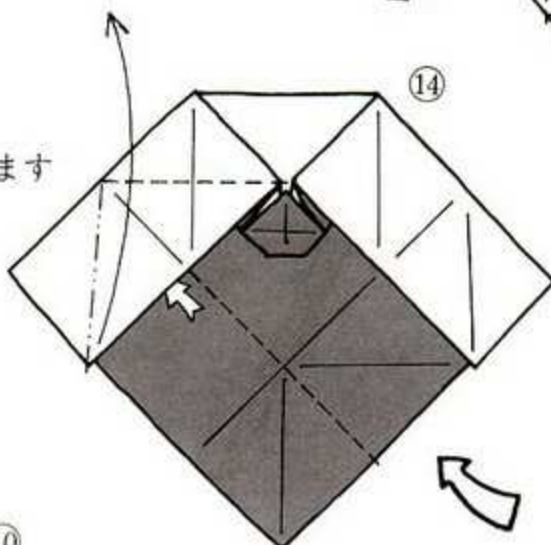
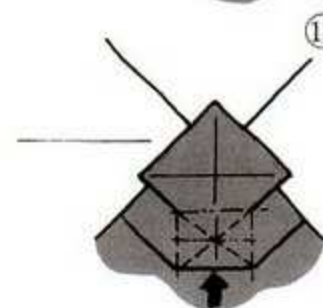
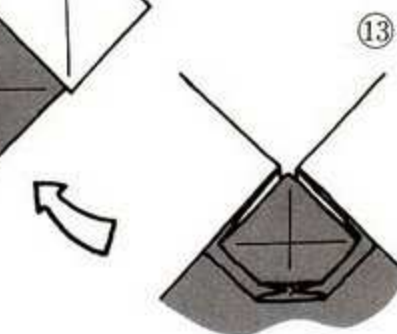
ひらいてつぶします



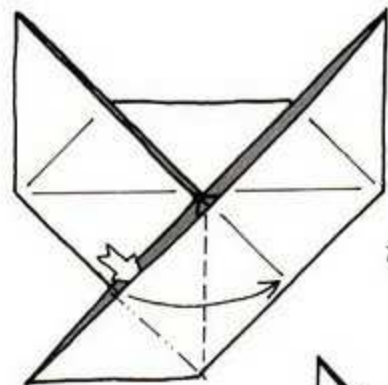
しっかりと
おりすじを
つけます



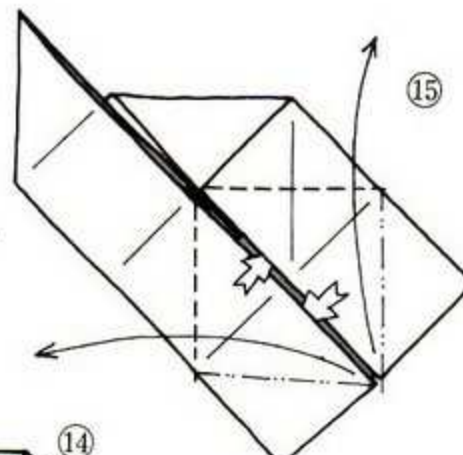
↑のところを
おしつぶしながら
おりたたみます



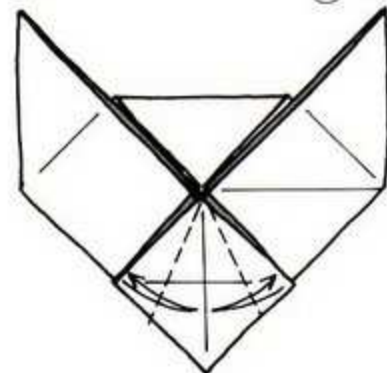
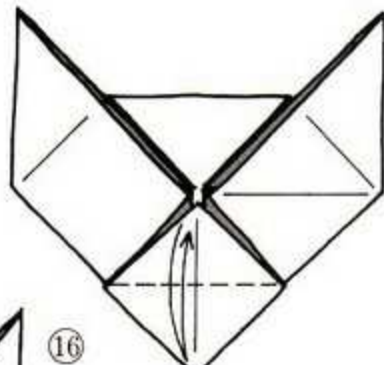
ひらいて
おりたたみます



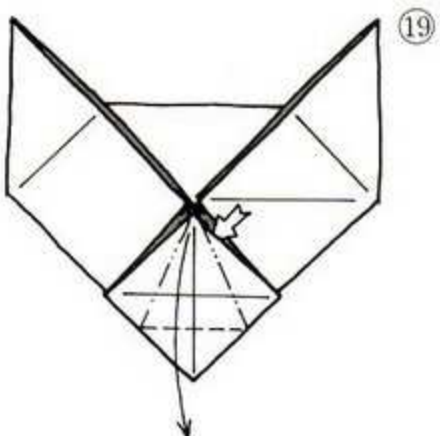
ひらいて
おりたたみます



ひらいてつぶします

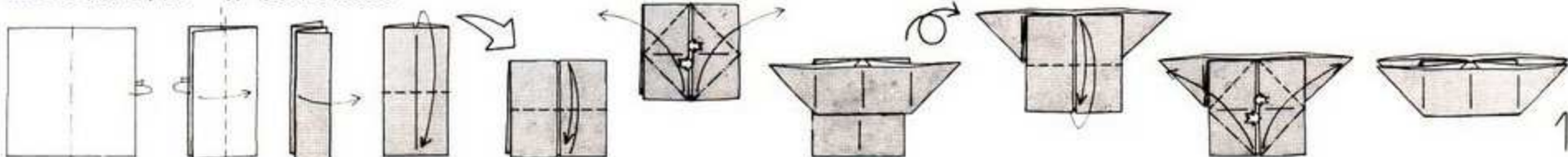


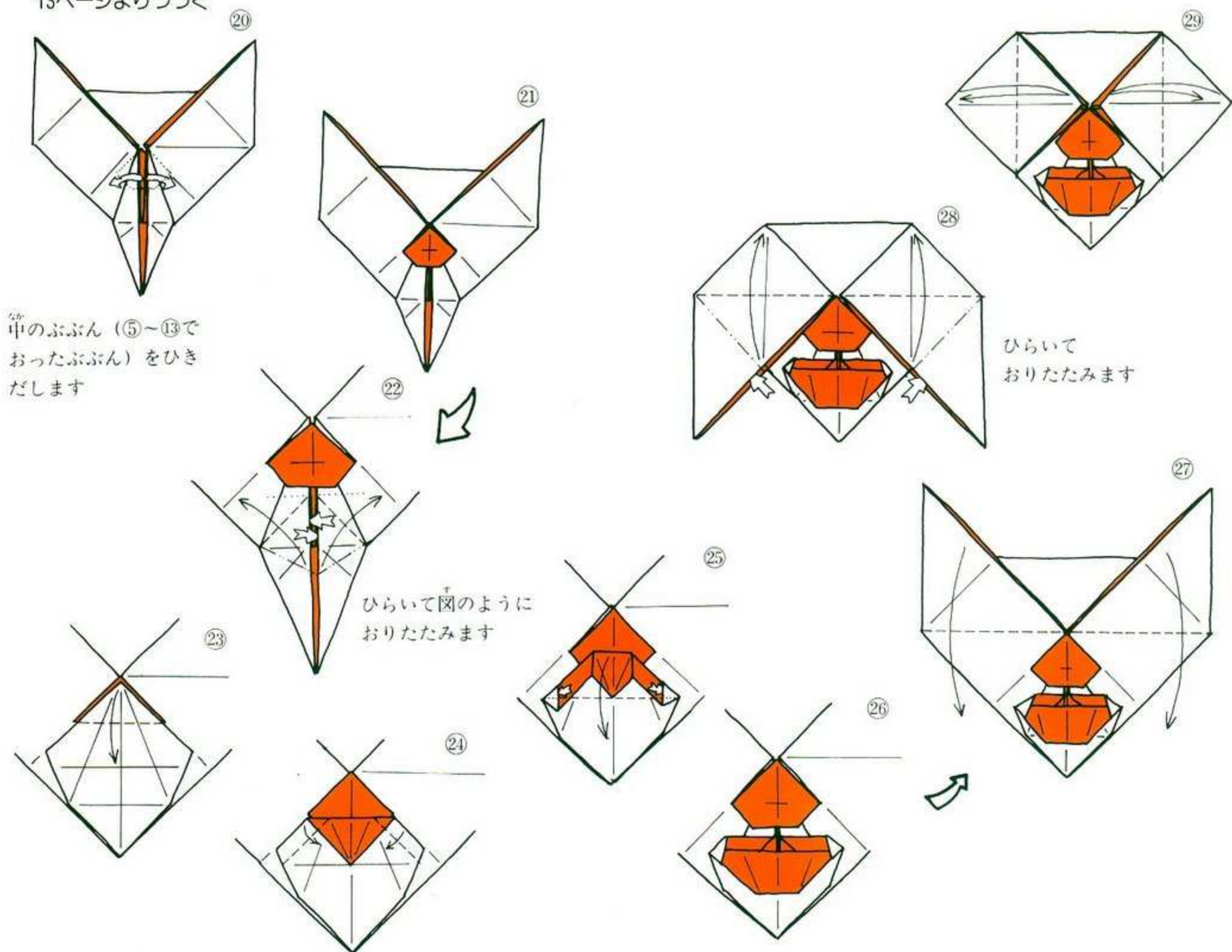
ひらいて
おりたたみます



二そうふね基本形

W-boat base





古典にみる折り紙

高木 智

第9回 絵本 青樓美人合 (せいらうびじんあわせ)



(写真 1)

浮世絵界で、菱川宣信、西川祐信が息の長い仕事をした後、みごとな彩色を駆使して錦絵を生み出したのは鈴木春信です。彼は祐信の没後10年ばかりの後に浮世絵を発表し始めましたが、板木を15枚、20枚、と重ねて極彩色にする方法はまさに画期的なものでした。春信もまた女性を好んで描きましたが、目元から首に至る曲線に独得のものがああり、あごの部分小さくまとめて、何とも甘い、あどけない美しさを表現することに成功しています。

彼の活躍期間は明和期(1764~70年)を中心に10年間ほどの短期間でしたが、その末期とみられる明和7年(1770年)に出版された『絵本青樓美人合』全5巻に、折り鶴柄の着物を着た女性が描かれています。

“青樓”というのは遊廓のことで、“江戸”2冊、“角”(不明)1冊、“京都”2冊の5冊からなり、それぞれの名妓を名前と俳句入りで紹介したものです。(写真2)は、江戸の“染川”という女郎が折れた2羽の鶴を置き、更に、完成した3羽目を両手で開いているところです。前には紙とはさみが置かれています。

また京都の“しけ橋”という女郎は立ち姿でその着物には一面に折り鶴が散らされています。(写真3)それらの鶴は、祐信のとはまた違った表情を持っています。かつて私は古本屋の店頭で1枚の浮世絵を見つけ、驚喜して

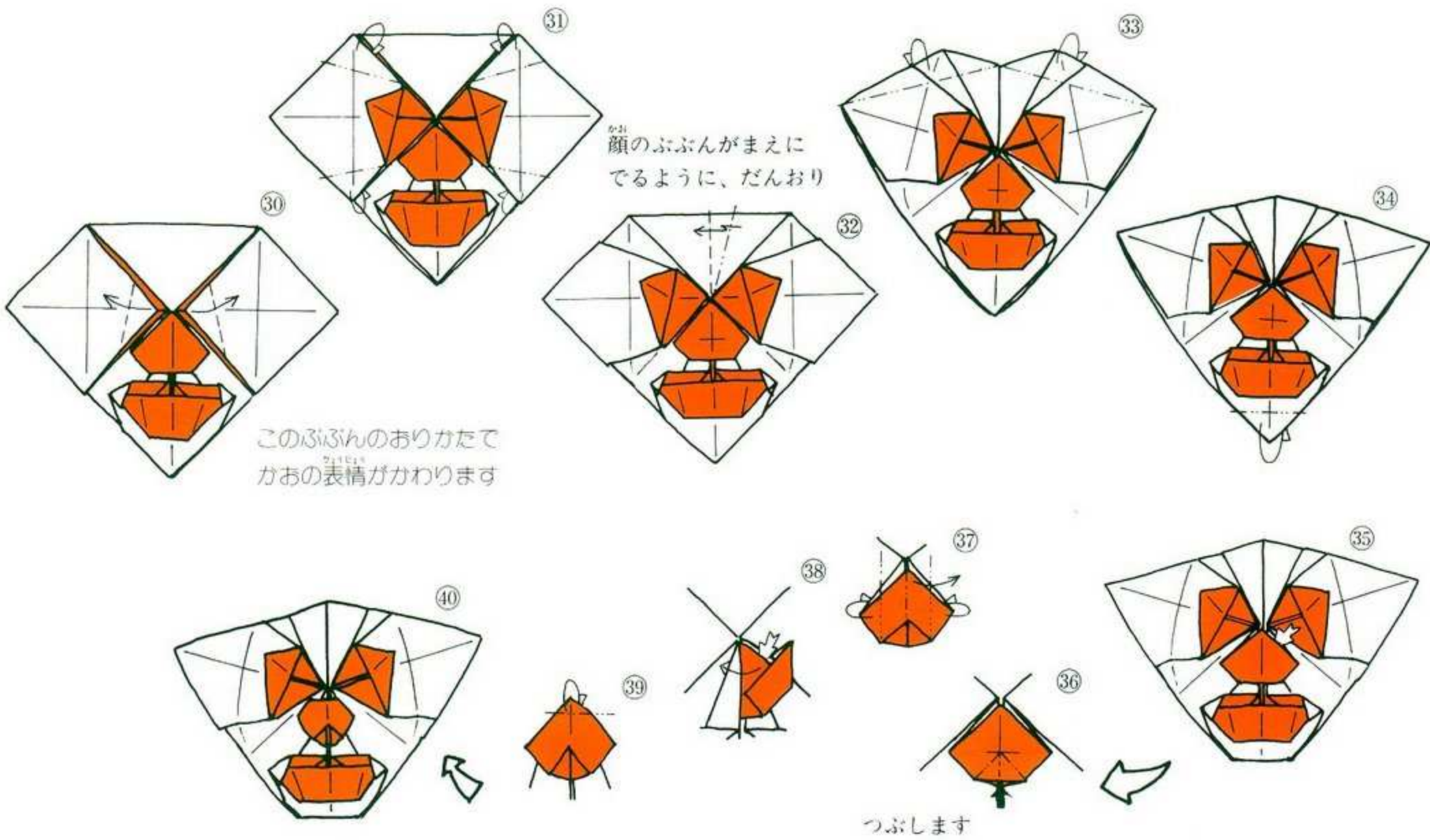
持ち帰ったのですが、実はそれが本書のこの頁だったわけで、ここにお見せする臨川書店の覆刻本(仏教大学図書館蔵)と丁寧に比べますと、微妙な点が違って興味があります。

なお本書には他に、手紙の封を切ろうとしている図(しつ淹)、香を聞いている女郎の足元に香包がある図(ふたむら)などが見えます。出版元は江戸の舟木嘉助、他に丸屋甚八、小泉忠五郎の共同出版となっています。

(写真 2)

(写真 3)

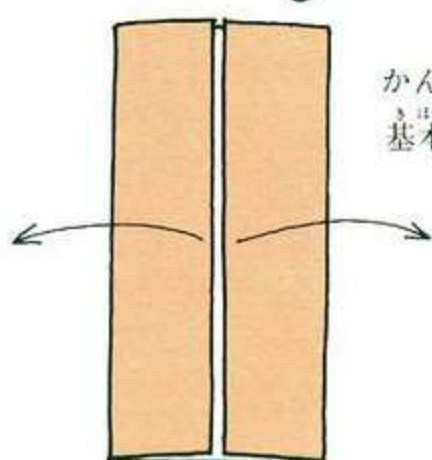




えり

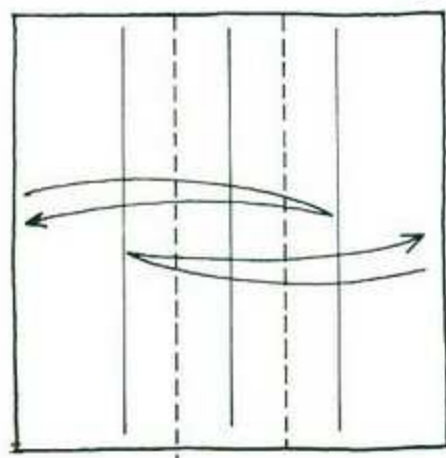
Frill

①

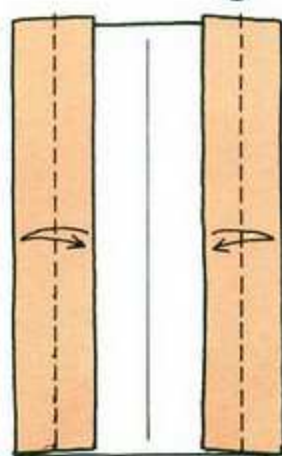


かんのん
基本形より

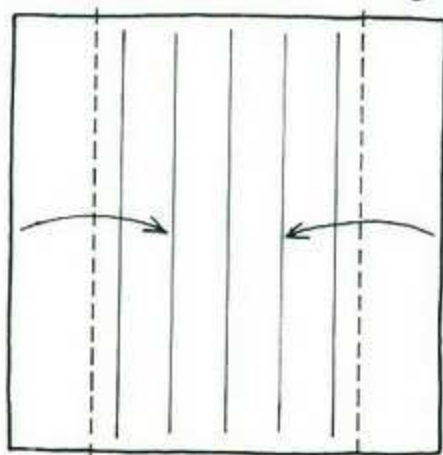
②



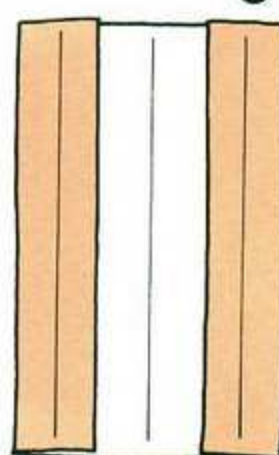
④



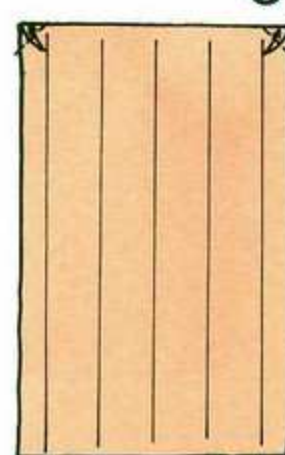
③



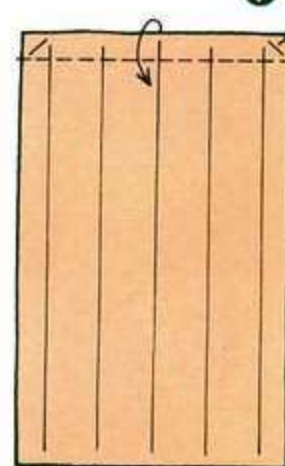
⑤



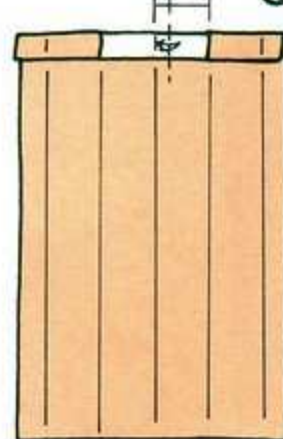
⑥



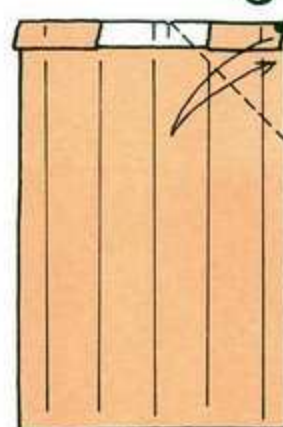
⑦



⑧

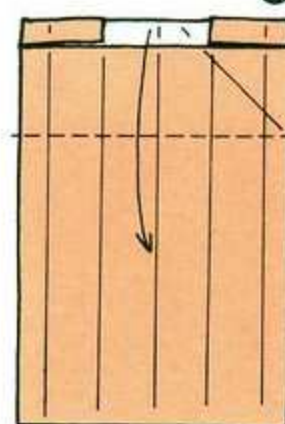


⑨



16ページにつづく

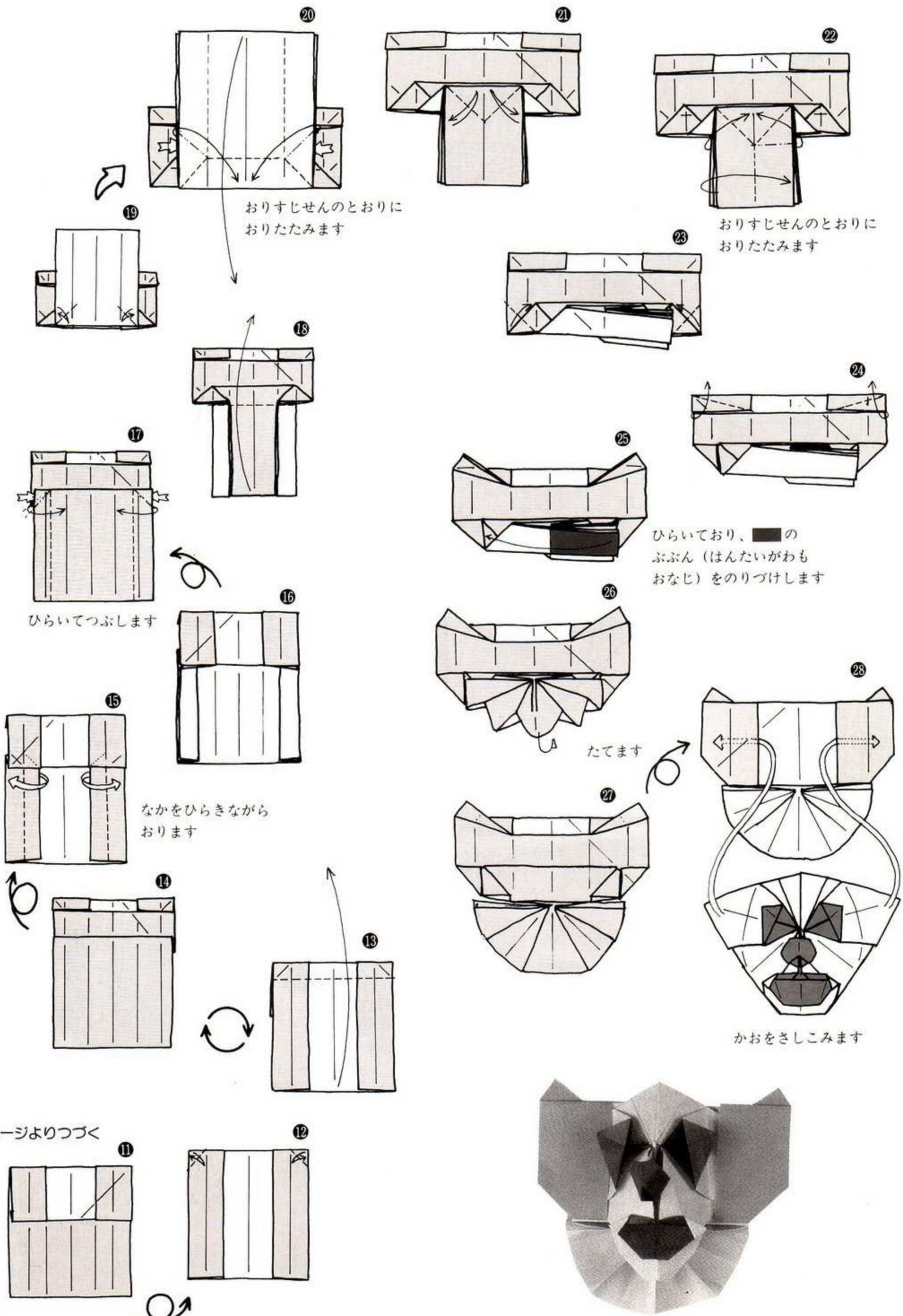
⑩



かんのん基本形 Door base

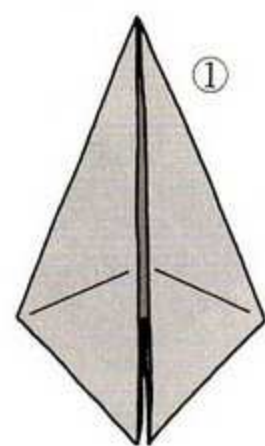


15ページよりつづく



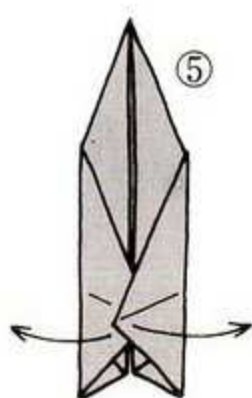
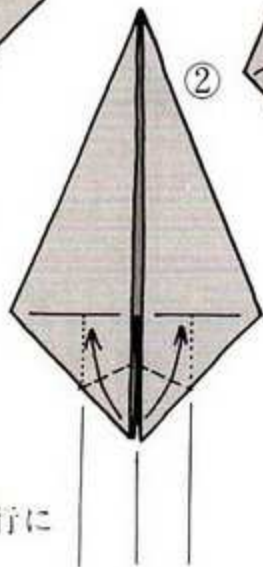
ぼうし

Cap

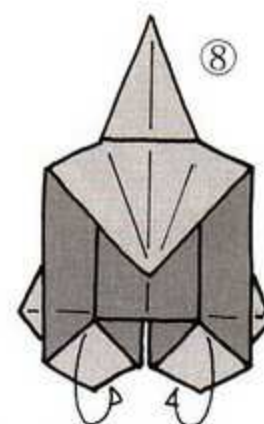
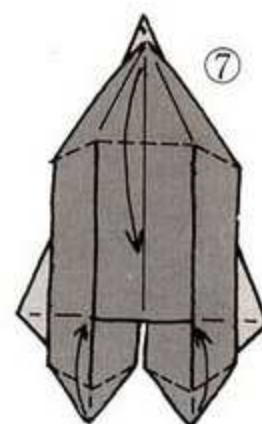
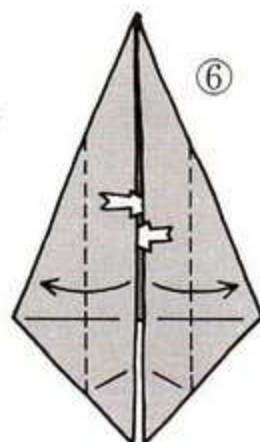
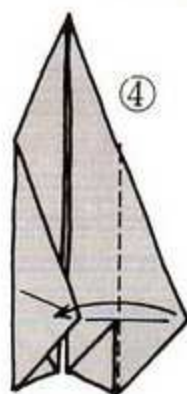


さかなの
基本形 I より

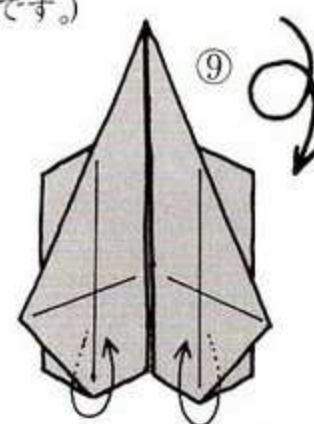
平行に



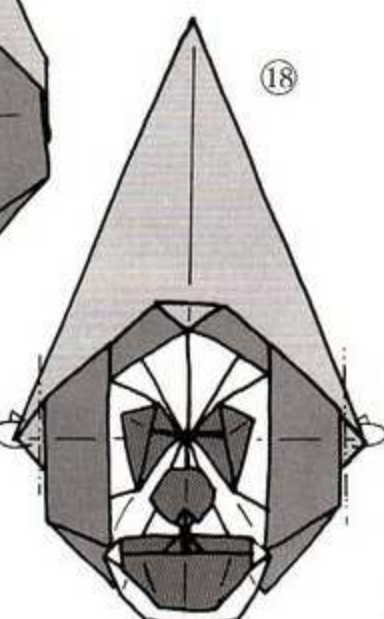
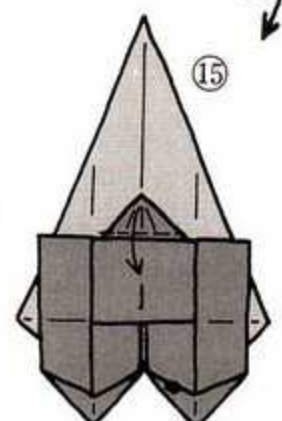
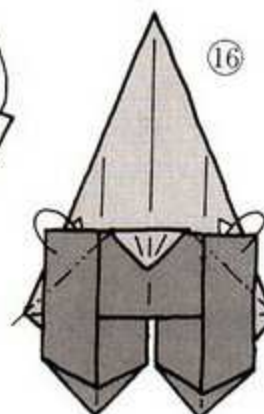
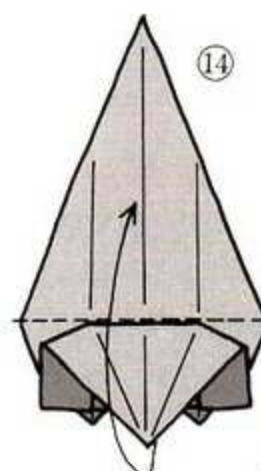
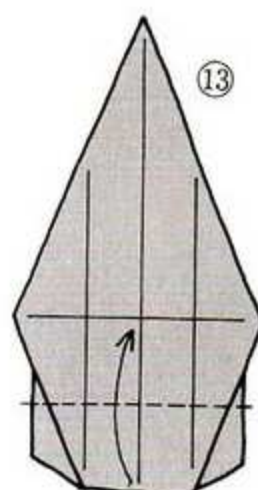
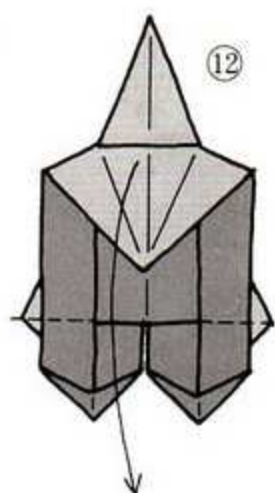
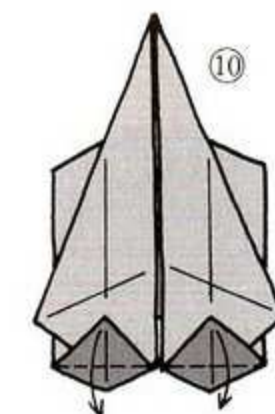
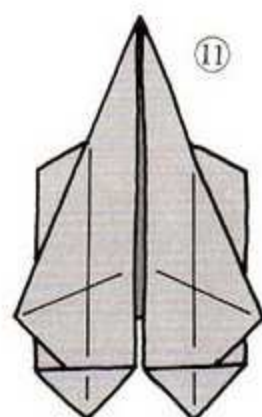
ひらきます



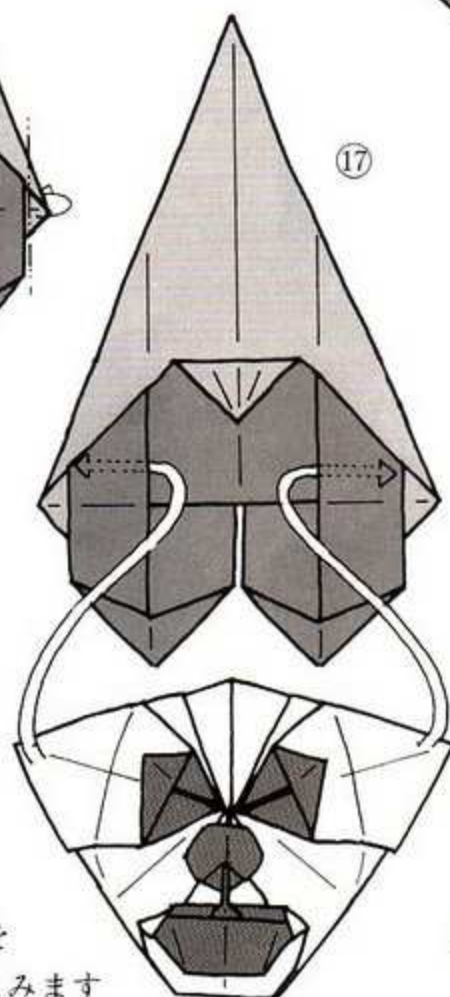
ひっくりかえします
(おったところをひらき
ながらするとかえしやす
いです。)



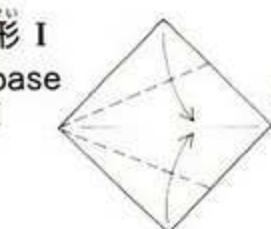
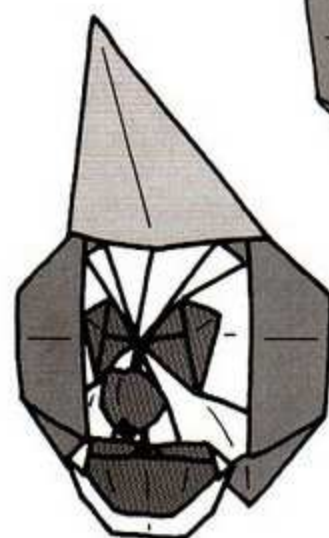
(うらからみた図)



かおを
さしこみます



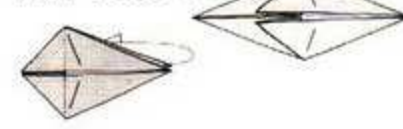
ぼうしをまえに
ひきだします



魚の基本形 I
Fish base I



魚の基本形 II
Fish base II



“おりがみ”と折り紙をつかって みんなで作った壁面 のページ

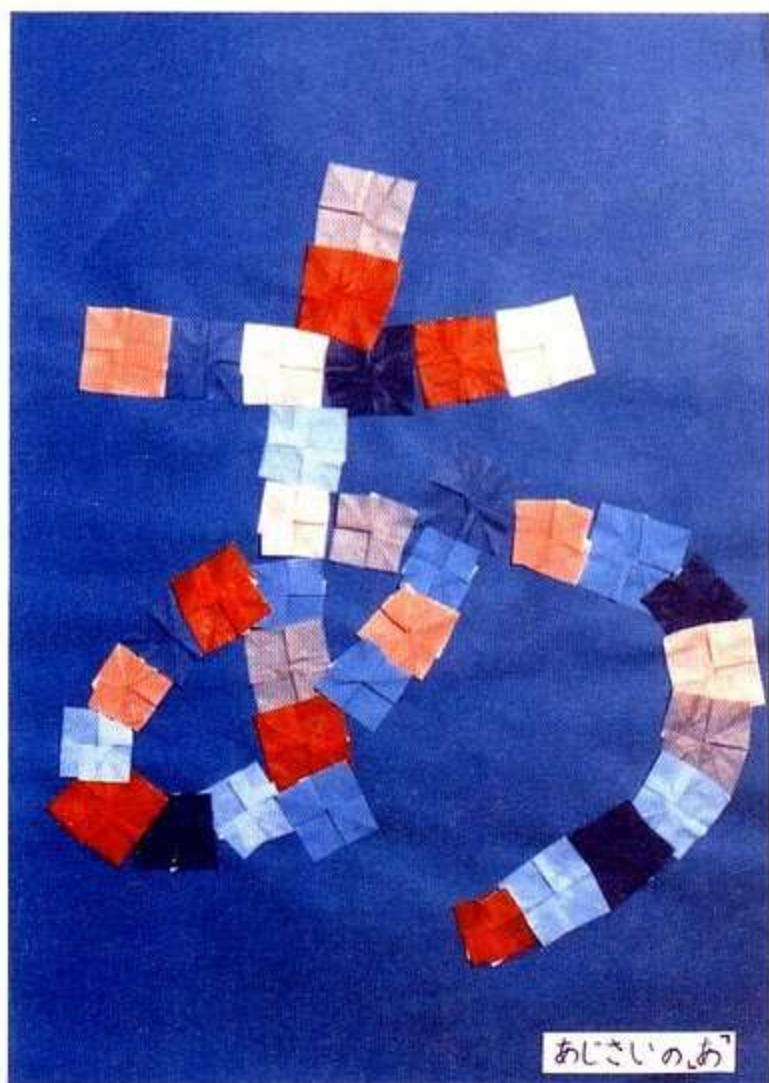
第 15 回

おりがみ「あいうえお」ひょう

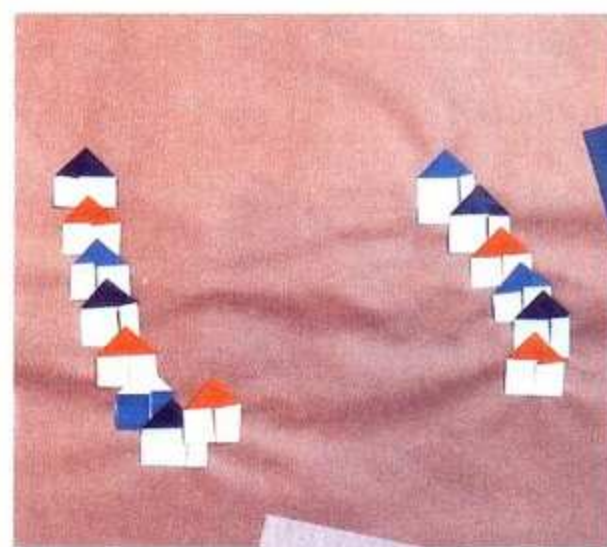
池田市立細河小学校1年生(1年1組)

指導：梅本吉広

〒563 大阪府池田市中川原町498



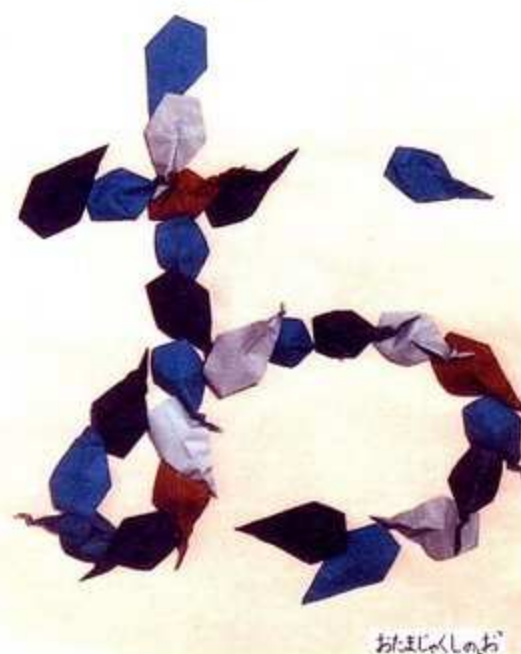
あじさいのあ



うさぎのう



えんぴつのえ



おたまじくのお

みなさんの、園・クラス・グループでの折り紙の利用風景(壁面、室内など)をお知らせください。

◆ 投稿要領 ◆

○カラー写真(ネガ、ポジ…35mmサイズ。プリント…サービスサイズくらいの大きさに、いずれも明るく鮮明な仕上がりのもの。)

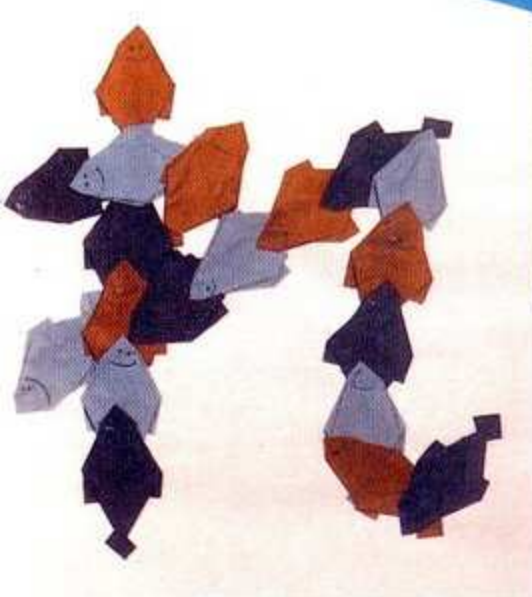
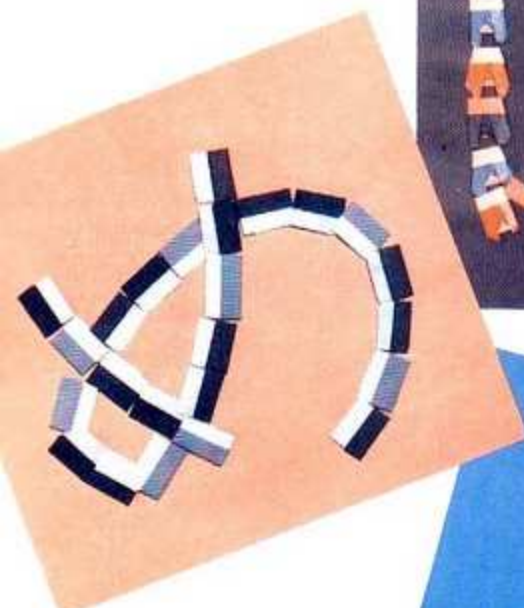
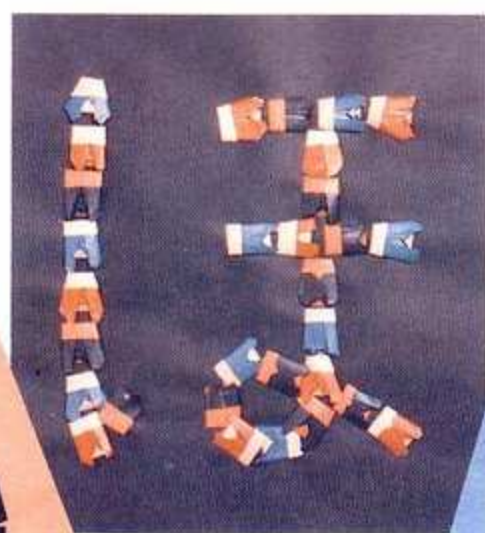
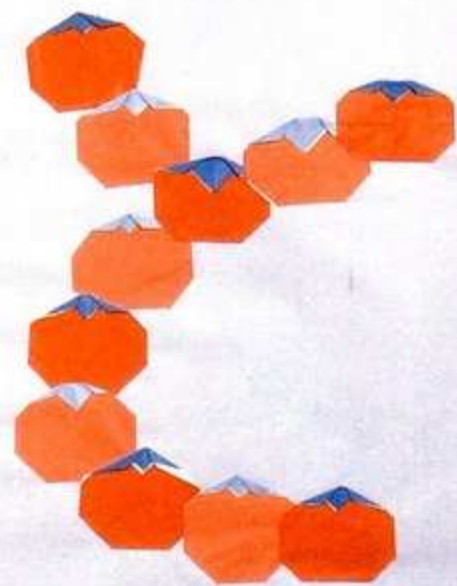
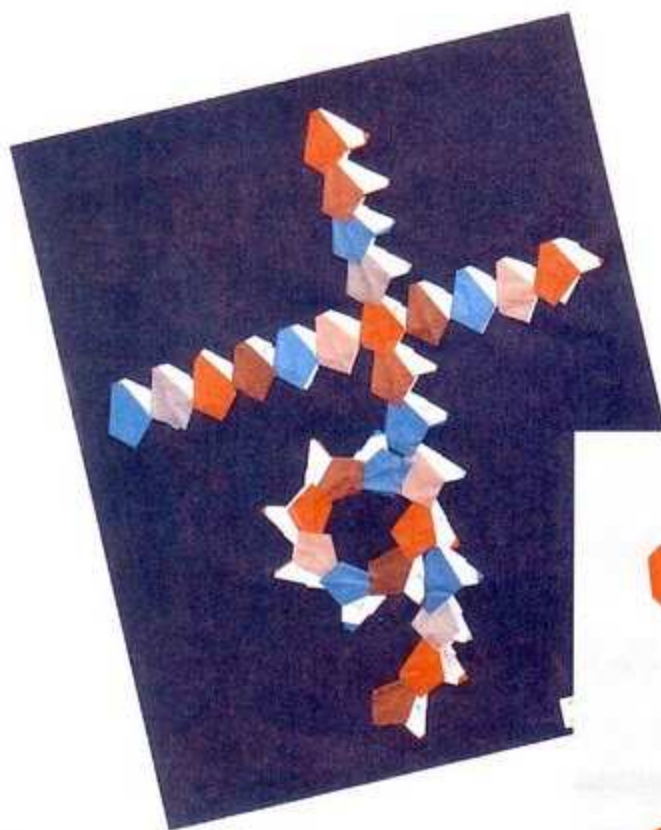
1本または、1～10枚程度

○各スナップに、簡単な説明(日時、制作時の様子など)をそえてください。

○寄稿時には、グループ名または個人名・住所・連絡先(電話番号等)を必ず明記してください。また、折り紙に関するお話やご意見もお聞かせください。

※ 使用・未使用に限らず、写真はお返しします。なお、掲載分には掲載誌の発送をもって、お礼に代えさせていただきます。

あ	あじさい	つ	つ	も	モーターボート
い	い え	て	てんとうむし	や	やつこさん
う	う さ ぎ	と	ト マ ト	い	
え	えんぴつ			ゆ	ゆ の み
お	おたまじゃくし	な	な す	え	
		に	にわとり	よ	ヨ ッ ト
か	か め	ぬ	い め	ら	ラ ク ダ
き	きんぎょ	ね	ね づ み	り	リ ボ ン
く	く じ ら	の	の し	る	か え る
け	け む し			れ	か れ い
こ	こ い	は	は フ ラ シ	ろ	ろ う そ く
		ひ	ひ よ こ		
さ	さ る	ふ	ふうせん	わ	わ し
し	しちめんちょう	へ	へ び		
す	スノーピー	ほ	ほ た る	わ	
せ	せ み			あ	
そ	ソフトクリーム	ま	マンボウ	う	
		み	みみずく	ま	
た	た め き	む	むしかご	を	
ち	ちょうちよう	め	めいしがい	ん	クレヨン



これらの作品は、梅本吉広さんが「かな文字指導と折り紙」のテーマで1年生を対象に指導し完成したもので、昨年11月に大阪府池田市の市民文化会館で開かれた「おりがみ展」(23日～25日)にも出品、発表されたものです。

5月初めから折り始めた「おりがみあいうえおひょう」が、ついに完成しました。

あじさいの「あ」から、クレヨンの「ん」まで、ちょうど50種類折りました。最初のうちは、手が紙になじまず思うように折れなかった子ども達。でも、折り方がわからないときは友達どうし教えあって、みんなが折れるようにがんばりました。今では、子どもなりの折り方の基本型ができて「これは〇〇くんのアイスクリームだね。」とか、「これは〇〇マンにそっくり。」などと、自由に創作を始めました。

また、各自家にあるおりがみの本を持ってきて、「先生折れるかな。」の毎日です。まだまだ先生は、みなさんに負けませんよ。

(「うめぼし」No61より)

1984年11月21日 梅本吉広 記)



ノアちゃんの 「もの知り教室」

このページでは、折り紙だけでなく、いろいろな事を取り上げて、ノアちゃんと一緒に勉強してみたいと思っています。皆さんも「あんな事が知りたい」、「こんな事を取り上げてみたら？」などのご意見をお寄せください。お待ちしております。（編集部）

第4回

毎号、皆さんにお楽しみいただいている“おりがみ”が、どのようにしてできあがるのかを、3回にわたってお知らせします。

1回目は、読者の方から送られた作品が、印刷のもとになる原稿(版下)になるまでを追ってみましょう。

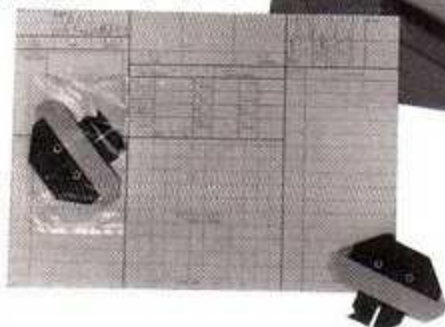
月刊誌“おりがみ”の できるまで <1>

折り紙ファンから寄せられた作品(小包など)と、編集部



にできた“投稿作品の山”の一部

作品カード作り



作品カードと
ファイルボックス



編集会議 各号の特集テーマに合わせて
作品選び 掲載作品を選択します

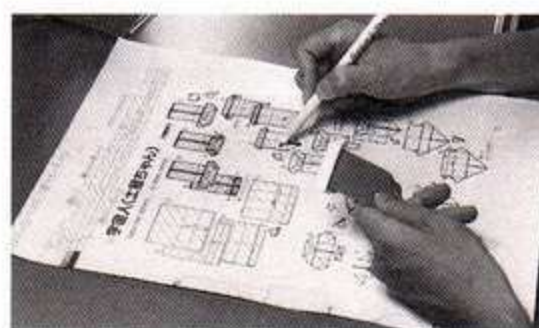
分解作業



送られた作品や折り図をもとに
折り順などを確認します

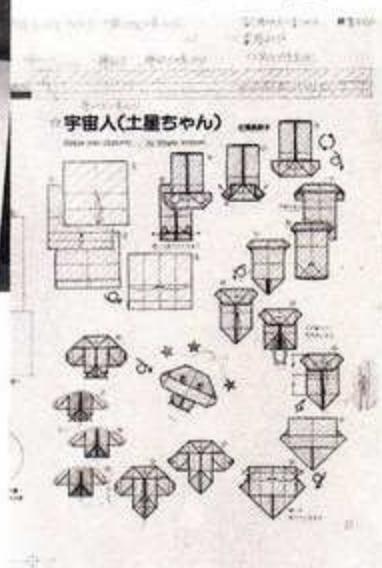


色指定



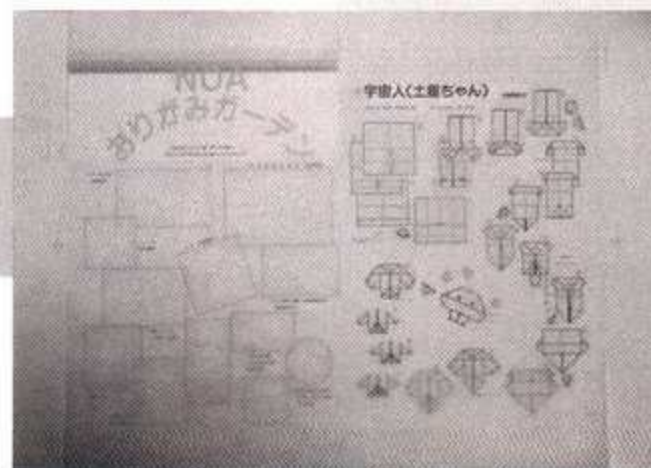
できあがった版下(原稿)をコピーし
色付けの必要な部分などに
指示を書き込みます

図や文字などの保護のため
トレーシングペーパーなどを
かけておきます
できあがり



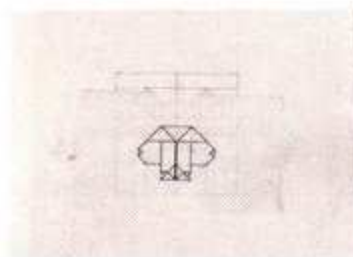
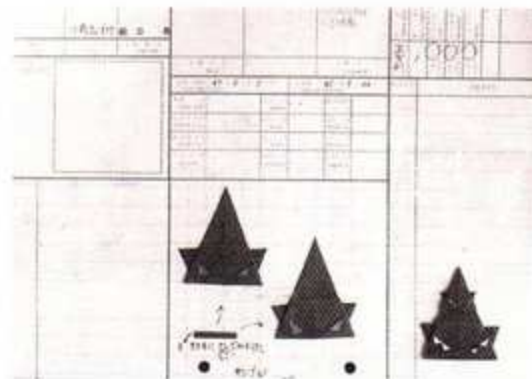
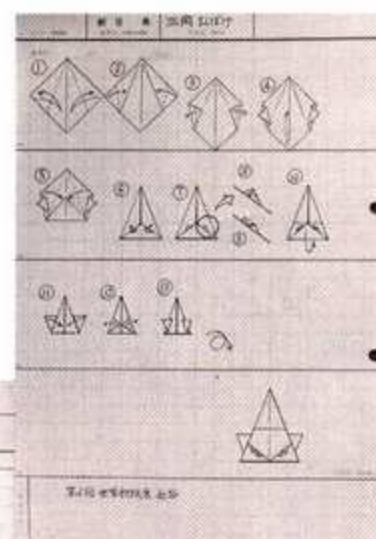
出稿

できあがった原稿(版下)を
印刷所に送ります

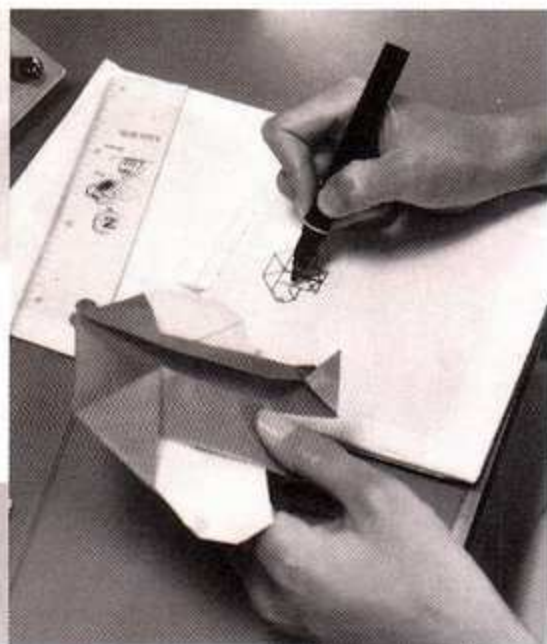


編集部が大喜びする、理想的な作品投稿の例

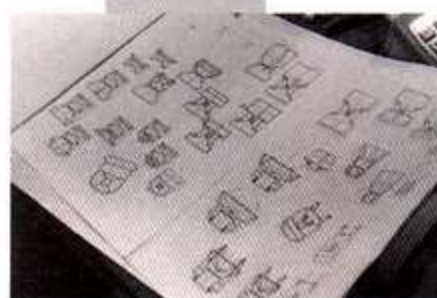
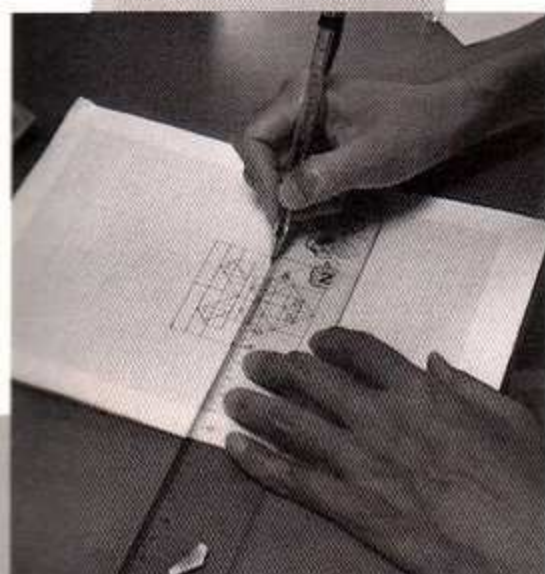
1. 作品カードに作品が添えられ
タイトル、その他の必要事項
がすべて書き込まれている
2. 裏面には、作品のわかり易い
折り図が記入されている
3. 立体の場合、輸送途中で破損
しにくい梱包になっている



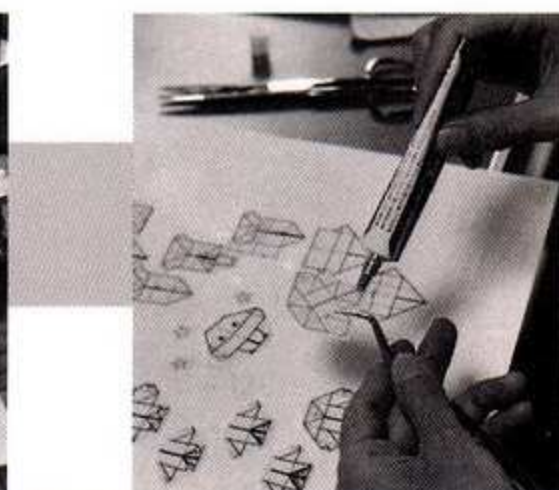
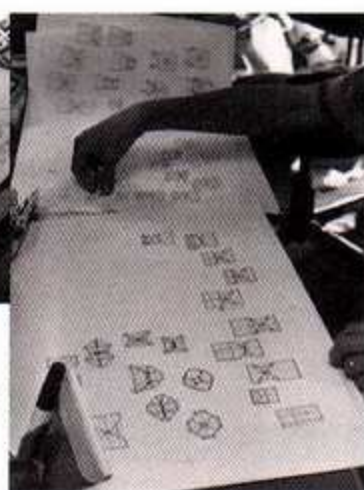
方眼紙の線をもとに
折り順に合わせて
図にします(墨入れ)



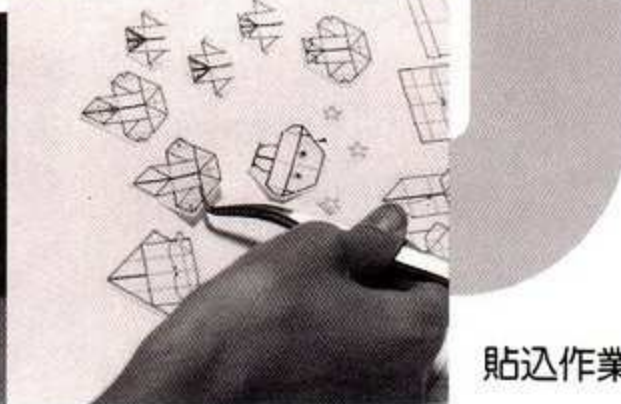
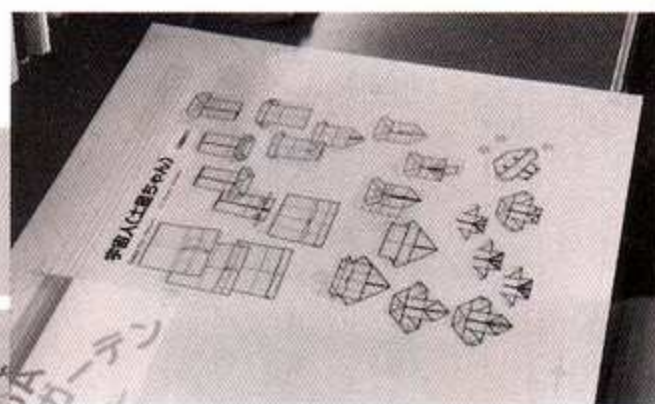
製図



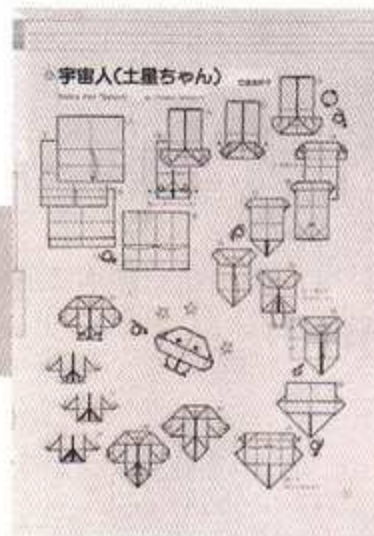
仮貼した図を
レイアウト用紙に移し
本貼りします



必要な線を方眼紙に書き込みます



貼込作業



打ち上がった写植
文字を切り分け
図に貼り込みます

文字原稿作りと写真植字

必要な文字を原稿用紙に書き出し
写植(写真植字)を打つための
準備をします

●その他の準備●

写真撮影
イラスト制作発注

次号予告 次回「月刊誌「おりがみ」のできるまで②」は、できあがった版下が印刷所に送られ、製版されるまでをレポートします。お楽しみにお待ちください。

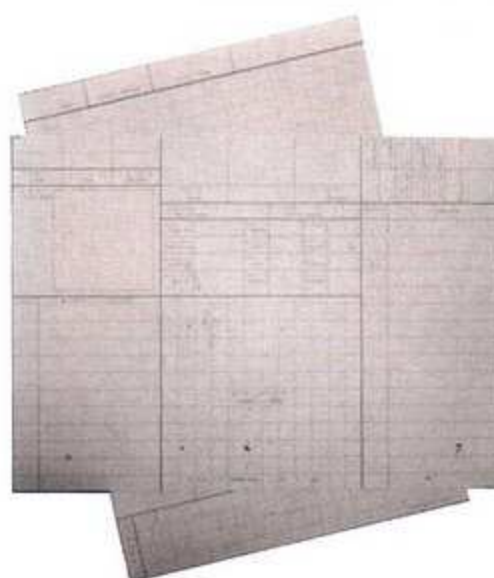
写真植字

文字を一字ずつ
焼きつけます



印画紙に文字を焼き
つけたもの

★ 作品整理用カードをお分けします ★



1枚 20円

送料 5枚まで 170円
15枚まで 240円
35枚まで 350円

ご希望の方は、本誌巻
末にとじこみの郵便振替
用紙にご記入の上、ご送
金ください。

NOA おりがみガーデニ

1枚の紙から広がる夢、創り出す喜び……。
あなたも折り紙の楽しさを味わってみませんか？

兎・猫・蛙・狸・熊・狐・豚（石塚寿美子）

UFO“MN号”
（中野光枝）



ハンドベル
（岡村康裕）



パンダ（石橋美奈子）



たとう折り2種ー伝承応用作品ー
（真多紀佐子）



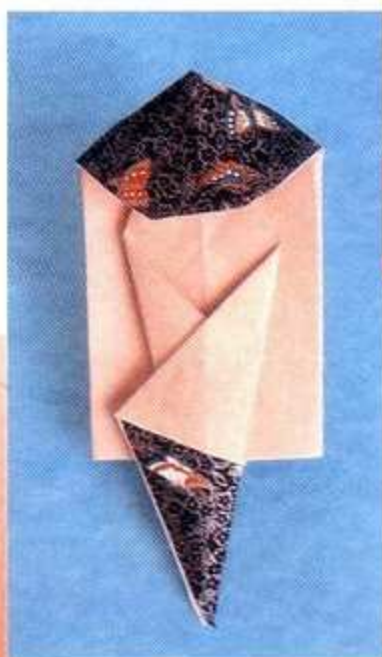
数字（0～9）
（長谷川太市郎）



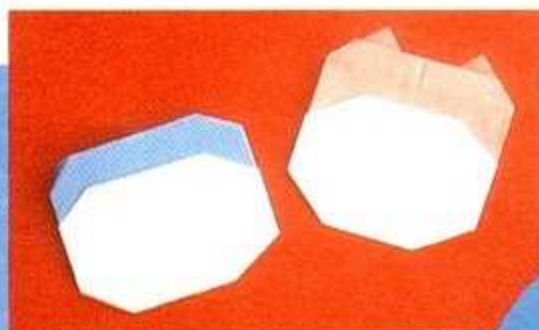
愛犬“チロ”“おすわり”
（御木 勲）



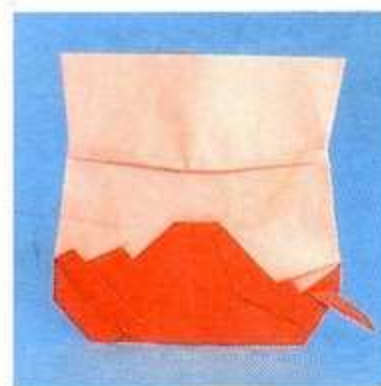
猫の1年生
（宮川康二）



笠美人（長谷川太市郎）



ドラえもんの顔・
ドラミちゃんの顔
（吉和千枝）



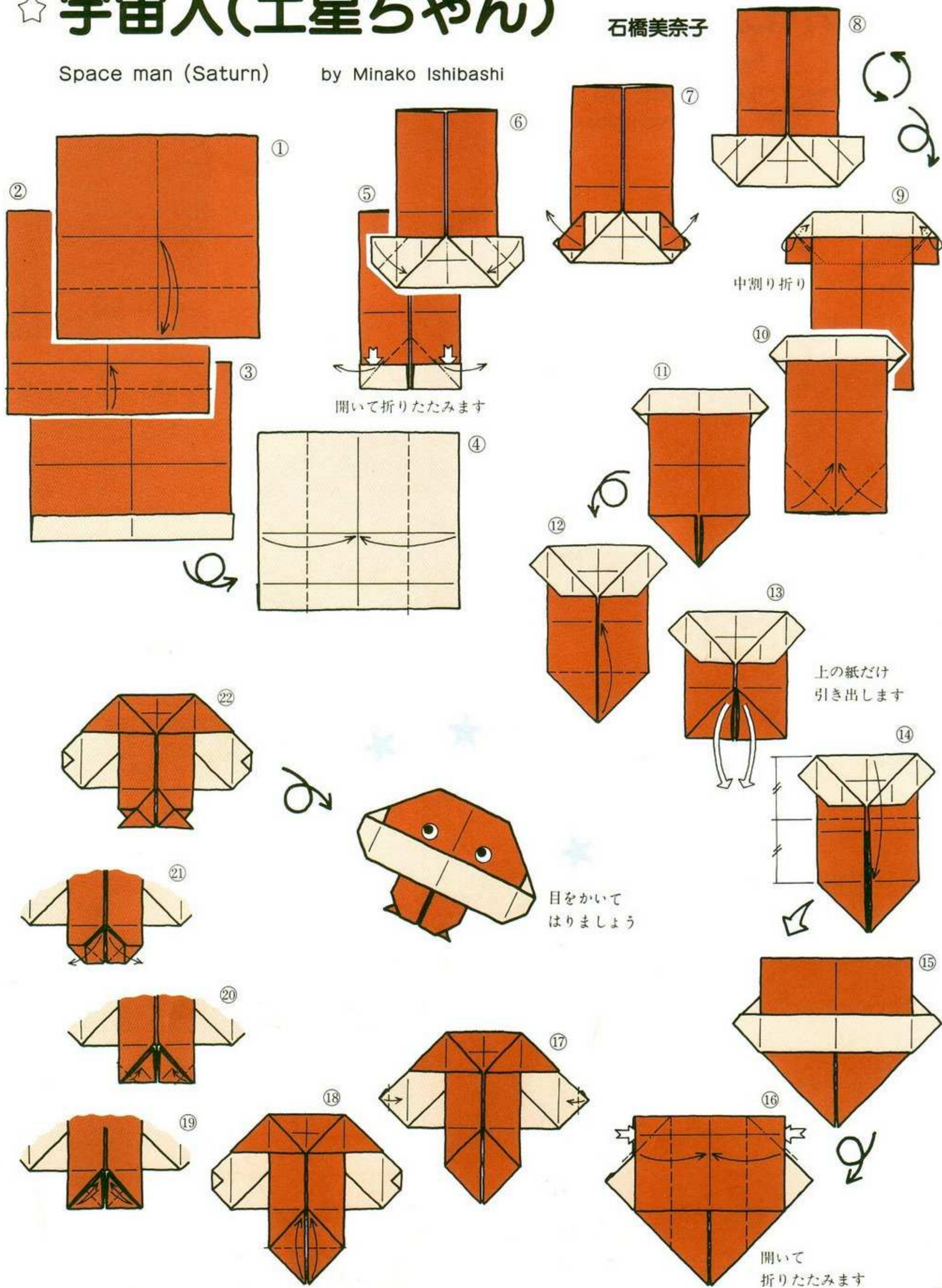
おむすびを拾った蟹・
臼に押しつぶされた猿
（岡村昌夫）

☆ 宇宙人(土星ちゃん)

Space man (Saturn)

by Minako Ishibashi

石橋美奈子



アホロートル

石橋美奈子

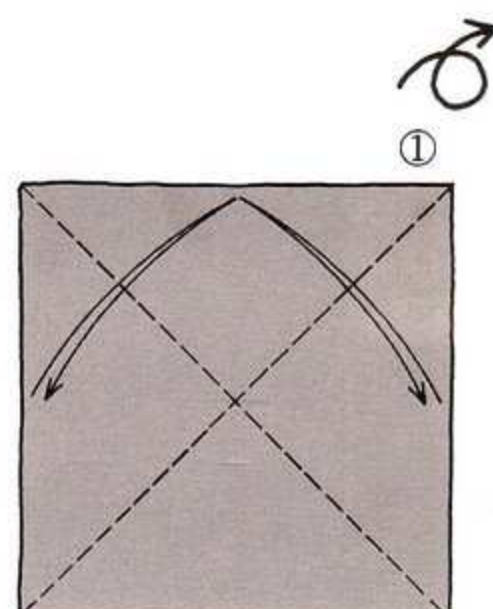
AMBYSTOMA MEXICANUM
by Minako Ishibashi

ピンク系かオレンジ系の
折り紙で折りましょう。

●使用する紙の大きさの割合●

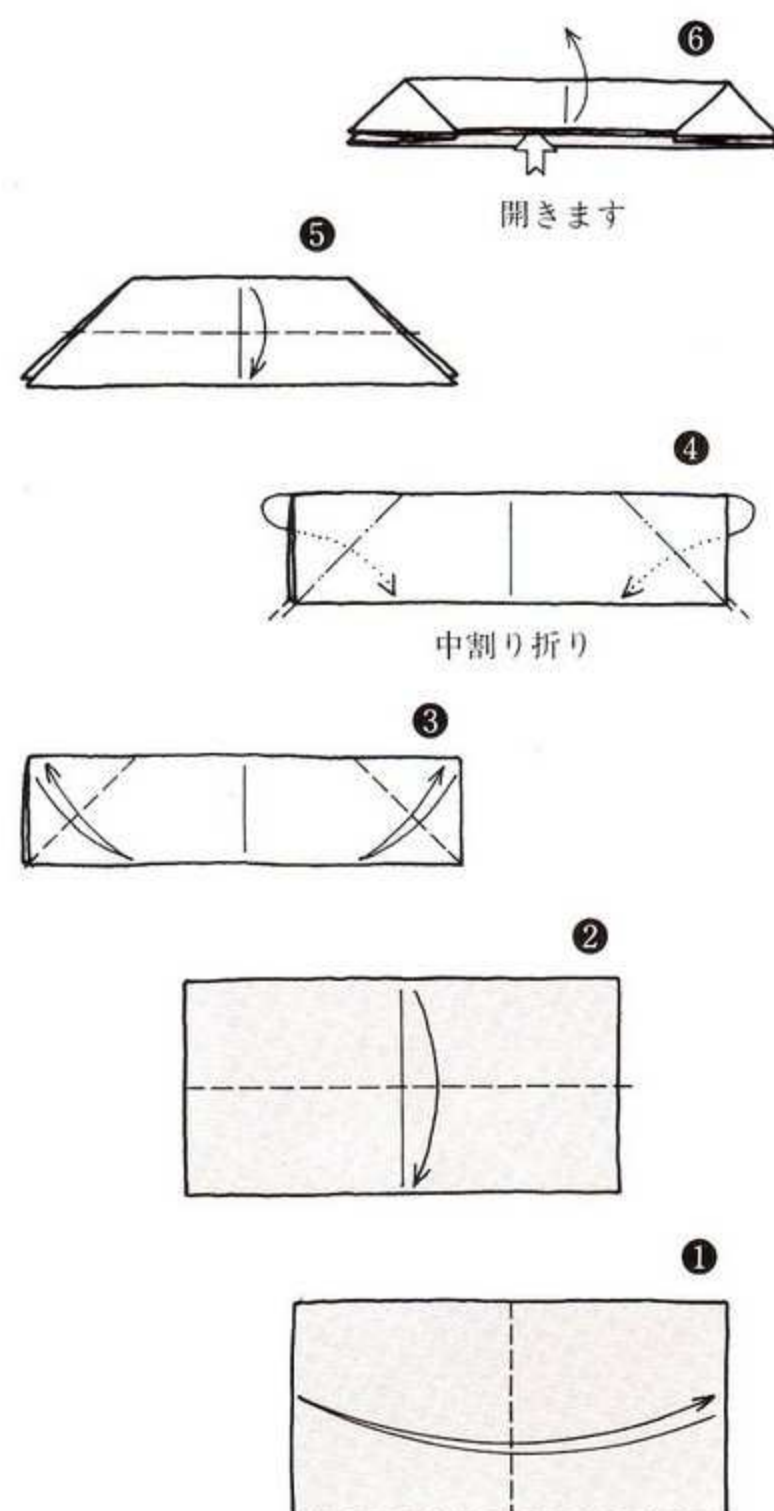


頭 Head

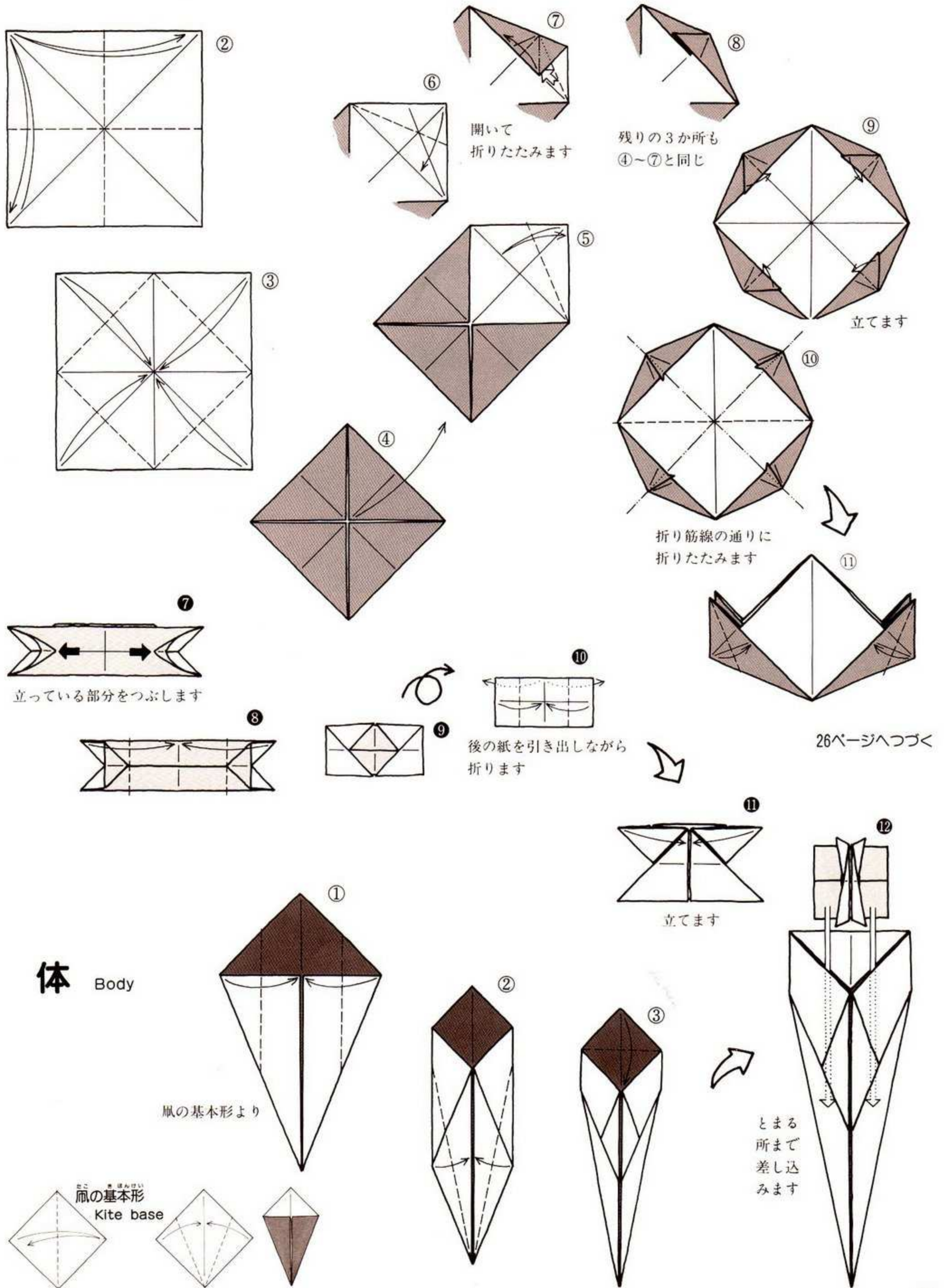


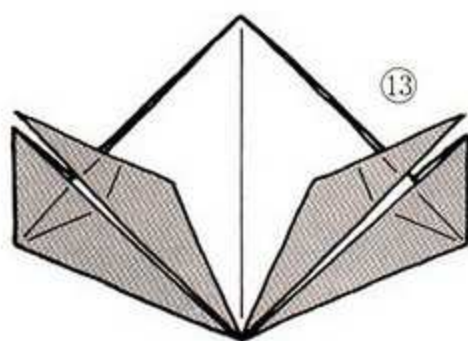
作品をお寄せくださった皆さん (5月1日~6月30日受付、敬称略)

西川誠司 (東京都) ——— (ヤンバル) テナゴコガネ
景井正明 (福島県) ——— エリマキトカゲ
丸田梯介 (新潟県) ——— エンゼルフィッシュ・行儀のよい仔狗
山丈圭子 (大阪府・14歳) ——— インコ
米沢広美 (大阪府・13歳) ——— たばこ入れ
甲谷保和 (神奈川県・10歳) ——— ワシ
小松和子 (長野県) ——— 折り紙絵本「はな」「わたしはミーちゃん」「どうよう」
匂坂岳志 (東京都・5歳) ——— ツバメ・アヒル
中野光枝 (東京都) ——— UFO「MN号」
宮川康二 (東京都) ——— 蛙・猫の1年生・スズメ・狐・カメレオン・コウモリ・小人
円野 暁 (東京都・小4) ——— スズメ・エジプトの美
安達由紀子 (東京都) ——— ポケット・ポケットチーフ
五島朋子 (熊本県・8歳) ——— ハングライダー
紹介：澤田やゑ (埼玉県) ——— しおり2種
吉和千枝 (広島県) ——— パンダ・花・壺・帯
伊藤恭子 (愛知県・12歳) ——— ヒヨコとゴフトリ・かんむり・ユニコーン
山田茂丸 (兵庫県) ——— 豚・犬
佐藤直幹 (U.S.A.) ——— ハートマスク
木下一郎 (大阪府) ——— 葉
染谷淳一郎 (茨城県) ——— 鶴
岡村康裕 (兵庫県) ——— タモリ・ハンドベル
御木 勲 (大阪府) ——— 愛犬 チロ「おすわり」「おて」
石塚寿美子 (北海道) ——— 狐・猫・豚・兎・狸・熊・蛙
田口篤司 (埼玉県) ——— オリックスII
真多紀佐子 (兵庫県) ——— さいふ・たとう折り2点
福山登美代 (兵庫県) ——— 飛行機
榎本京子 (東京都) ——— 花笠
西本マツア (兵庫県) ——— 風見車
藤本修三 (兵庫県) ——— 蝶のむれ (花笠)
考案：藤本修三 (兵庫県) } 紫陽花
作図：井口洋一郎 (静岡県) }
考案：小林郁之 (兵庫県) } カニ
紹介：小林二郎 (兵庫県) }
土居正明 (高知県) ——— 「まりと殿様」・「兎と亀」
四ノ宮道江 (神奈川県) ——— 浜降り祭
長谷川太市郎 (広島県) ——— ネクタイ・笠美人・便箋置紙「ホームベース」・「二等辺三角形」・
数字 (0~9)
高橋吉永 (新潟県) ——— 稲荷の狐・犬(チャウチャウ)・ライオン(雌)・上杉謙信の顔・
武田信玄の顔・ピエロの顔・子供の顔(男女)・顔(私の印象)・
お兄さんの顔・舞子さんの顔・鞍馬天狗・文福茶釜・おみこし・
鳥居・カマキリ・ハエ
Victor Beskronnych (U.S.S.R.) ——— 子羊・熊・ラクダ・Matreshka
勝矢光信 (東京都) ——— 新聞紙で折る七変化帽子 (雪ん子帽子→鐘巻様の冠→スチュ
ワーテスの帽子→王冠→博士帽→ラーメン屋さんの帽子→鳥
帽子)・チーズケーキ・ミット・兵隊さんの帽子(サイフ)・エリ
マキトカゲ・シャツ・スリッパ・パンパンパン・カツパ・ボート・
くちくかん

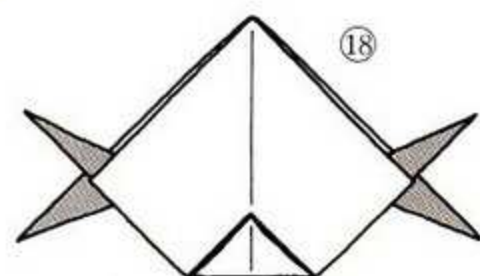
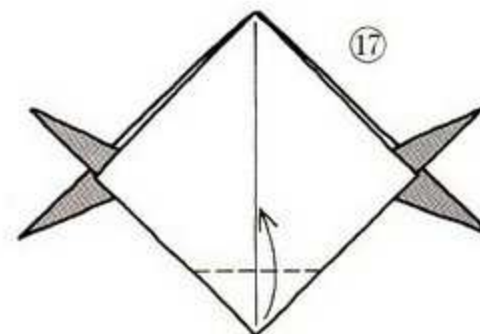
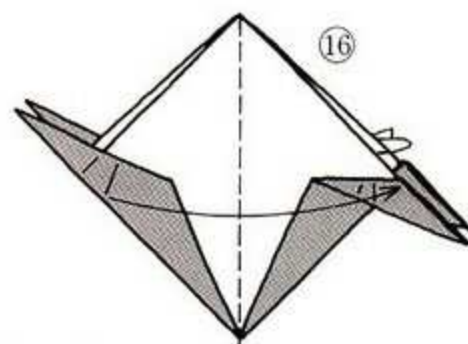
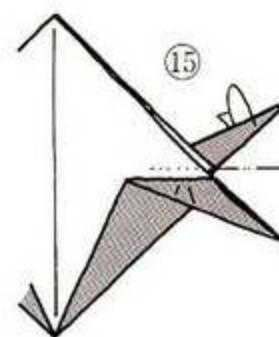
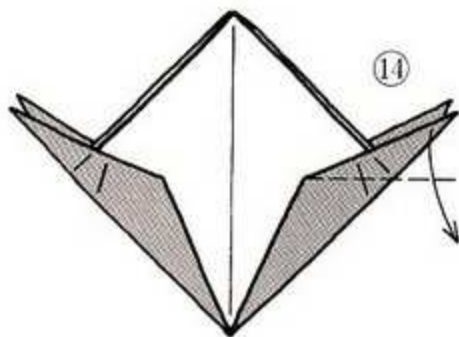
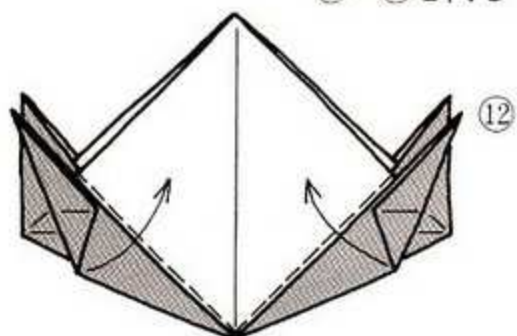


前脚と後脚

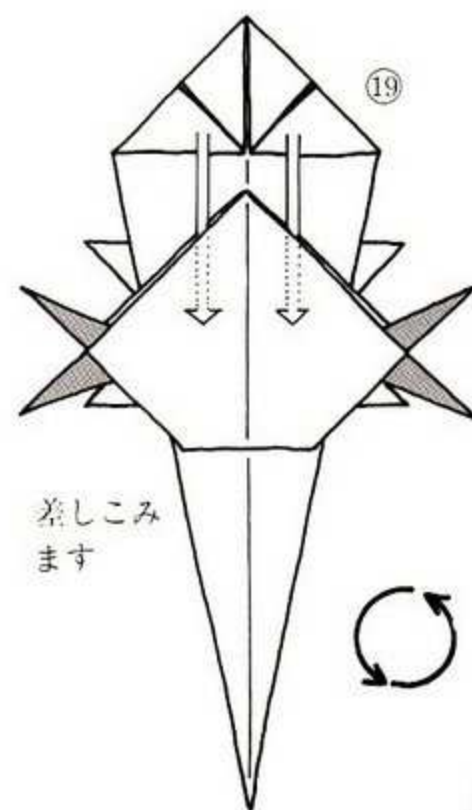
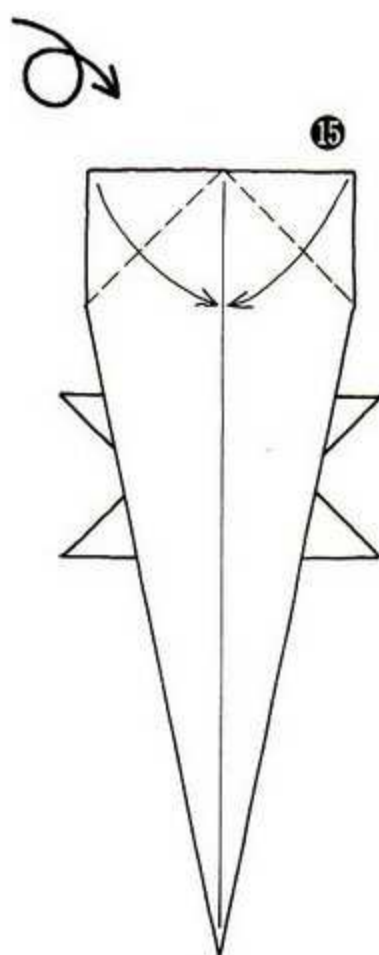
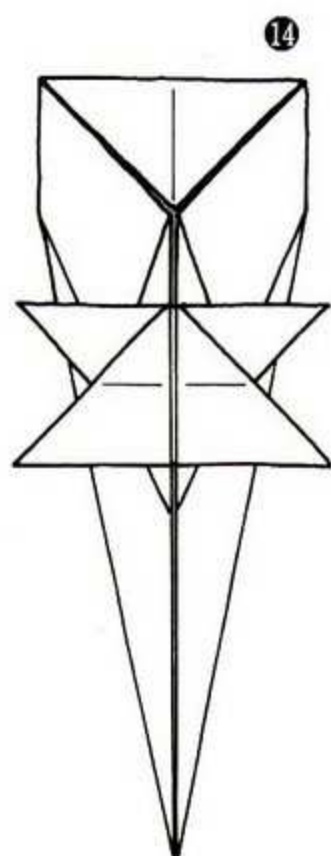
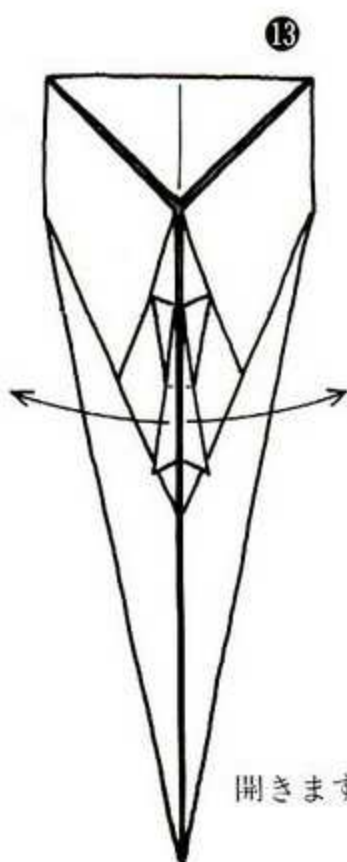




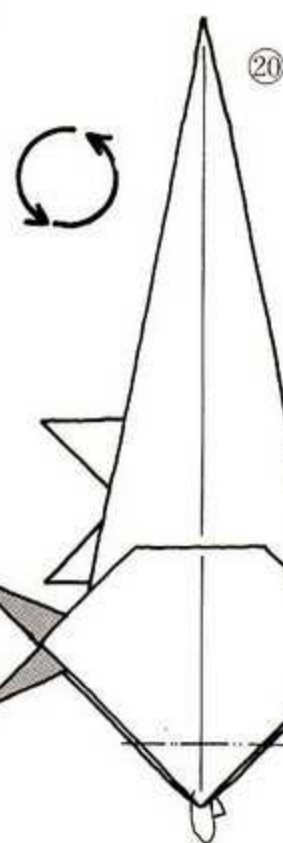
残りの2か所も
⑪・⑫と同じ



25ページからつづく

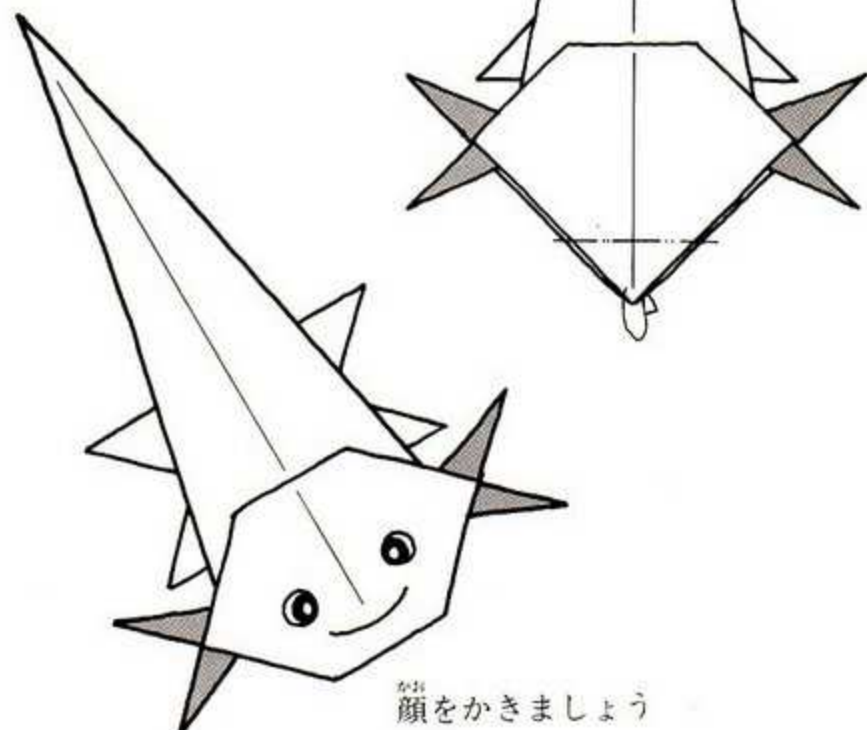


差しこみ
ます



皆さんからの作品をお待ちしております

- 正方形などの単純な形で折った作品であること。
 - 必ず創作であること。
(ただし伝承作品の新しい感覚での利用法なども含めます。)
 - 応募作品にはできるだけ折り図、または折り順を示すものをそえてください。基本形から始められるものでしたら、その基本形からで結構です。
 - 作品は同じものを2点送ってください。
 - 応募作品のうち特に良いと思われるものはこの雑誌で紹介し、できるだけ折り図ものせていきたいと思ひます。
 - 応募作品は返却しませんが、作品と折り図は協会で一定期間大切に保存いたします。
 - あて先…〒102 東京都千代田区五番町12
ドミール五番町 1-096 日本折紙協会 編集部
- ※電話番号、年齢を必ずお書きください。



顔をかきましょう

つどいのへや^{II}

第12回 赤塚折り紙同好会 (東京都)



代表 北島愛子

「赤塚折り紙同好会」は3年前に始まりました。初めは大人中心に折っていたのですが、だんだん子供の数が増えて今ではすっかり子供にのっけられてしまった恰好になっています。現在、メンバーは、近くの幼稚園の子が来始めたのをきっかけに口から口へと口コミで広がり、今ではその幼稚園の子供たちがほとんどで、まるでクラスがそのまま引っ越してきたようです。

毎月第2・4金曜日。みんなが階段を駆け上がってきます。するとそれまで静かだった部屋はもう大変な騒ぎになります。おしゃべりをしたり、じゃれあったり、喧嘩も毎度のことで、遊びに来たのか折り紙を折りに来たのかよくわからないほどです。それでもみんな帰る時にはちゃんと作品を持って帰るから不思議です。年齢が低いので折れるものには限りがありますが、やる気だけは大人以上です。

これからもワイワイガヤガヤ、賑やかに、そして楽しく折っていきたいと思います。どうぞ、そんな折り紙が好きな人はのぞいてみてください。

〈赤塚折り紙同好会〉例会

日時：大人の部…第2・4木曜日 午後1:30～2:30

子供の部…第2・4金曜日 午後2:00～3:30

場所：たからや2階（香取 宅）

（〒175 東京都板橋区赤塚2-9-12 tel:03-930-2263、
東武東上線 下赤塚駅下車 北口徒歩約3分）



なにを折っているのかな



ワイワイ
ガヤガヤ
たのしそう



◇連絡先◇

北島愛子…〒203 東京都東久留米市前沢3・8・6
Tel 0424-73-9222

原稿をお寄せください！

このコーナーでは、全国各地で活躍している折り紙の同好会やサークル、クラブなど、折り紙を中心にした集まりを皆さんにご紹介していきたいと思っています。

どんなサークルでも結構です。グループの特色、活動状況などをぜひお知らせください。メンバーの皆さんや作品の写真などがあれば、あわせてお願いします。

送り先は下記のとおりです。

〒102 東京都千代田区五番町12 トミール五番町1-096
日本折紙協会 編集部 “つどいのへや” 係

— おりがみ情報 —

■“折り紙シンポジウム”開かれる



8月2日(金)～4日(日)、日本折紙協会主催“第12回 折り紙シンポジウム”が埼玉県浦和市の小松原幼稚園で開かれました。参加者は全国各地から集まった中学生から70歳台までの会員の他、アメリカ折紙協会からのお客様、ジョン・モンテロールさんも含め98名。1日目には3つの講演会、2日目には4分科会に分かれての意見交換や作品制作が行われ、夜には恒例の懇親会と折り紙交流会が催されました。

今年は暑い最中会場から宿舎への移動などもあり、ハードなスケジュールながら、全員無事に日程を消化し、来年の再会を約束して終了しました。

■“夢を折る 創作折り紙展”

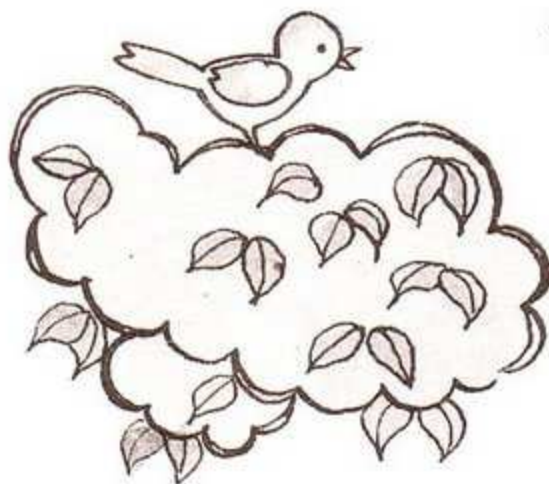
7月20日から8月4日まで、埼玉県川口市にある岩淵書店4階アートギャラリーで、NOA会員の朝日勇さんによる創作おりがみの個展が開かれました。雑誌“おりがみ”で紹介されたおせち料理や洋食セット、フッキーなどの作品から、今年の折り紙展に出品された魔物の顔まで約60点が展示されていたほか、床には赤い舌を出したヘビの作品がさりげなく置かれているなど、会場は折り紙の楽しさでいっぱい。会期中は朝日さんの折り紙教室も開かれ、川口市長をはじめ、大勢の人達が会場を訪れました。

最終日の4日は、浦和で開かれた折り紙シンポジウムの最終日と重なったため、お昼にシンポジウム会場を出た人達もこのおりがみ展会場に立ち寄り、夢のある折り紙の世界を堪能していました。



おりがみ

“おりがみ広場”は、読者の皆さんの情報交換のページです。作品のこと、折り紙に関したいろいろなお話やご意見など



— おたより —

西暦 100 年頃、中国の人、蔡倫によって作られた紙が、朝鮮半島を南下し、飛鳥時代に日本に伝わったことは皆さんもご存知でしょう。

先日、国際人形展に紙を素材とする人形が選ばれたのを縁に、その朝鮮半島、韓国へ短期間ですが行って参りました。そこで感じたのは、紙はオンドルの上の敷物、間仕切りとしての障子、土壁にはる材料として、今も暮らしの中に息づいているということです。けれども韓国での紙の持つ意味が日本と若干異なるのは、紙の役割がいずれも保温その他の実用面のみであり、日本における紙のような美的要素に欠けるという点ではないかと思われまます。人形や紙などで遊ぶことも、最近まではあまりなかったようです。



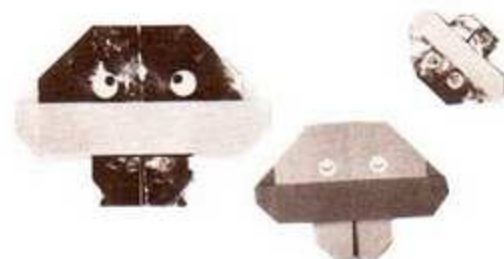
このたび第1回の人形展、生花展が開かれたことでもわかるように、生活に美や感性を求める傾向がでてきたのはよいことでしょう。先方の自宅でのパーティに招待された折、私が青磁の壺の雲鶴の図柄を指さして“はばたく鶴”を折ってみせた時の人々の驚きようは今も忘れま

せん。老若男女を問わず喝采の渦が広がりました。

これを機会に“韓国折紙協会”が結成される日が楽しみです。

(〒 113 東京都文京区湯島1-7-14

おりがみ会館内 土屋義晴)



私は15,6年前、事故で背髄を損ねまして以来、車イスの生活をしていますが、先月入浴中に足にヤケドを作りまして1か月余入院し、先日退院しました。

入院中は、患者さん達の無聊の一助にでもと思ってたくさん折り紙を折り、皆さんにさしあげていました。皆さん大変喜んでくださり、私も1か月間折り続け、廊下の壁などに貼ったりして楽しんでもらうことができました。患者さんだけでなく、付添の家族の方、実習の看護学生さん達にも大分覚えていただいて、中には是非協会に入会したい、という人もあり、いろいろな方に雑誌“おりがみ”をお見せしたりして楽しんでいただいています。

かねてより、私の地域にも同好者の会を作りたいと思っております。しかし何分にもハウス農作地帯のことですので、皆忙しく、習いたい、覚えたい、という人はほつほつありますが、なかなか会を作るまでには至っておりません。焦らず

アメリカ

ジョン モントロール

ジョン ジェゴム
キャサロンガ
小鳥

ストルチオミムス
(獣竜)

スピノ
サウルス
(獣竜)

ブラキオサウルス(雷竜)

アロサウルス
(獣竜)

トリケラトプス(角竜)

ステゴサウルス(剣竜)

ティメトロドン



スティーブン
ウェイズ

ガチョウ

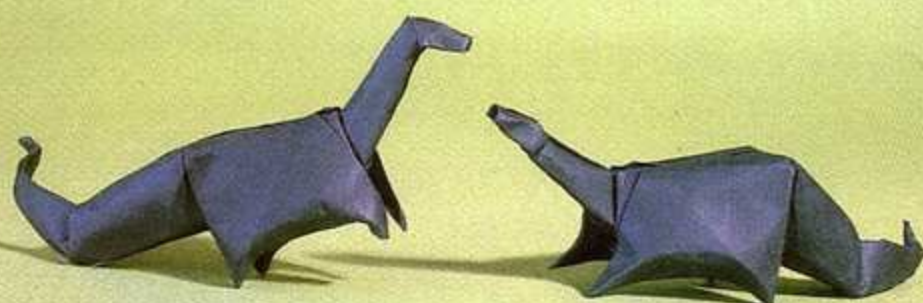


アルゼンチン

ルカ マッシーニ

フロントサウルスの一家
(部分)

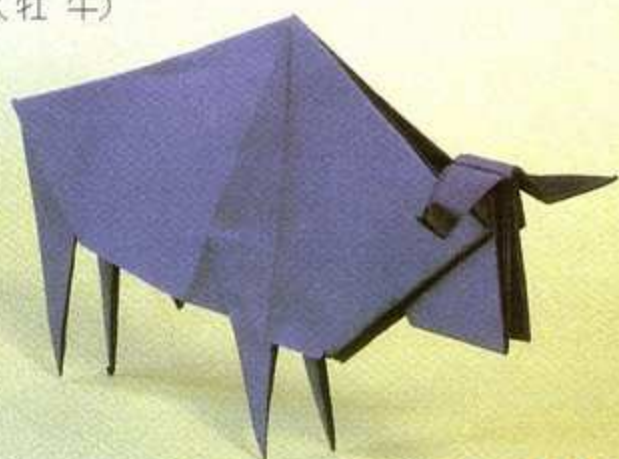
スサーナ アラシロ
アルゼンチン恐竜



イタリア

エドワード D. サリバン
丑(牡牛)

フランス



アメリカ



フランソワ ドメルゲ
ライオン

スペイン

テオドミーロ L. M.
マルチン



勝利者への
トロフィー

西マレーシア

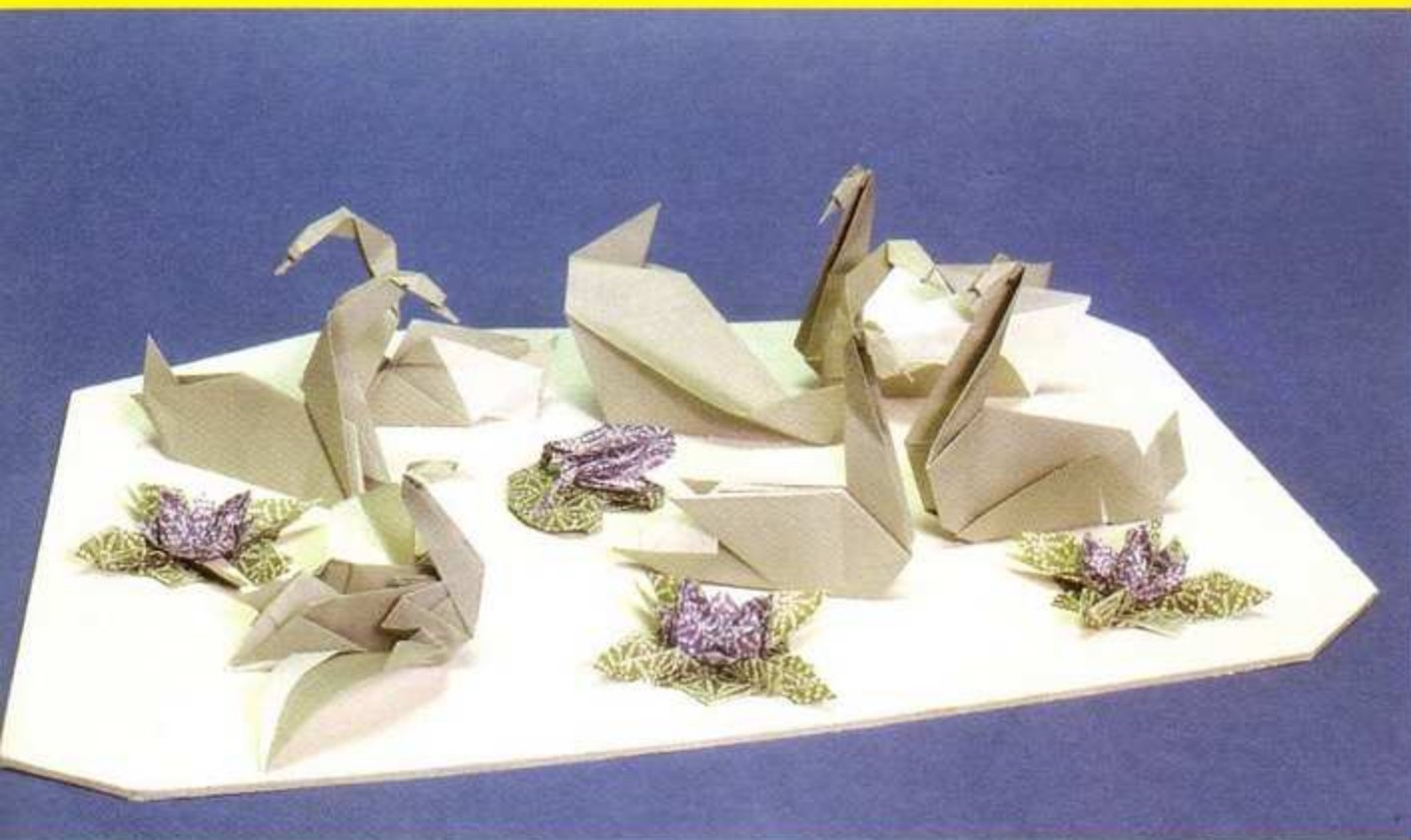
ソン コ テイク
真珠貝



おりがみ
ギャラリー

No. 68

海外からの作品紹介



ハンス ユノールニッツ 7羽の白鳥

第6回 世界折紙展 出品作品より



フランソワ ドメルゲ
立っているウサギ

フランス

イギリス



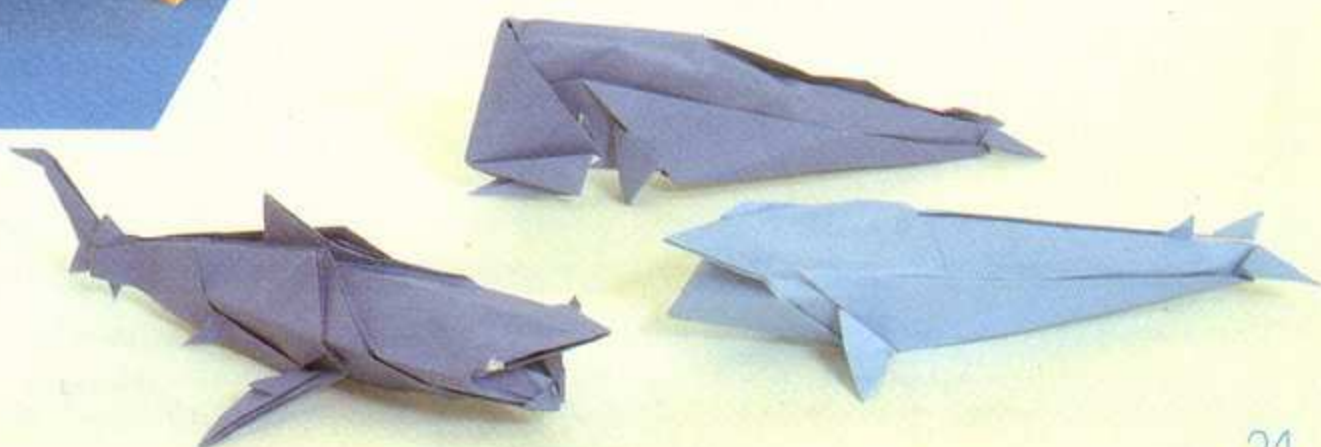
パオラ フィリップ
ウサギ

イギリス デビッド ペティ
亀

スティーブン ウェイズ
カメ



アメリカ



ジョン モントロール
シロナガスクジラ マッコウクジラ サメ

オランダ



クリスチャン ベスレヘム
インコのモビール

ジャケ アルコンバル
サルたち



《おりがみ》バックナンバーのお知らせ

	バックナンバー残部号数		特 集 内 容	価 格
第 三 種 郵 便 物 扱 い	1981年(昭和56年)	65号(増刊号)	鳥(シヤモ・ちゃほ・長尾鶏・鶏・火の鳥)……モノクロ版	定価 400円
	1982年(昭和57年)	81号(5月号) 84号(8月号) 87号(11月号)	端午の節句 実用品をつくる まるのおりがみ(後編) 品切れ近し おりがみ紙芝居-1(やまとうみのひつぱりっこ) 恐竜 在庫僅少 おりがみ指人形 “折り紙使節” 東南アジアレポート	
	1983年(昭和58年)	89号(1月号) 91号(3月号) 92号(4月号) 93号(5月号) 94号(6月号) 95号(7月号) 96号(8月号) 98号(10月号) 99号(11月号) 100号(12月号)	お正月(千支を折る…猪・みんなであそぼう) 在庫僅少 春(春の壁面飾り) おひなさま 在庫僅少 おはなししながらあつてみたら…… つかえるかな? 在庫僅少 おしゃれなおりがみ 節句飾りに添えて 機関車(前編) とり 歯をたいせつに 機関車(中編) 在庫僅少 星の祭り みんなの創作コーナー 機関車(後編) つくってあそぼう(スイカおぼけ・船・やじろべえ・他) 在庫僅少 秋の夜長に…(かけえとおりがみ) ひこうき ねじり折り(6) くすだまとユニット ねじり折り(最終回) 在庫僅少 在庫僅少 クリスマス(かざり・カード・みんなであそぼう) 在庫僅少	
	1984年(昭和59年)	101号(1月号) 102号(2月号) 103号(3月号) 104号(4月号) 105号(5月号) 106号(6月号) 107号(7月号) 108号(8月号) 110号(10月号) 111号(11月号) 112号(12月号)	ねずみ おせち料理 (付録: たのしいすごろく) おままごとNo5-はこにわ ハート 在庫僅少 かわいいどうぶつえん おひなさま ノアちゃんの物知り教室 入園・入学 つどいの部屋増刊号〈1〉 在庫僅少 虫のいろいろ つどいの部屋増刊号〈2〉 品切れ近し こどものゆうえんち おままごとNo6-なつまつり (付録: プラスペアおりがみ) すいぞくかん-動く水族館を作ろう! 夏の虫 品切れ近し 品切れ近し おままごとNo7-ノアちゃんの“おへや” おりがみ紙芝居-2(みんなでかくれんぼ) 在庫僅少 クリスマス(かざり・アクセサリーと小物)	定価 500円
	1985年(昭和60年)	113号(1月号) 114号(2月号) 115号(3月号) 116号(4月号) 117号(5月号) 118号(6月号) 119号(7月号) 120号(8月号)	お正月(折形・飾り・千支-うし) コアラをつくろう! たとう 節分 ラッコやコアラとあそぼう 花(花のカードを作る) ひなまつり ノアちゃんの物知り教室 おりがみ紙芝居-3(ひよこのびびい) 物知り教室 乗りもの(宇宙と空の乗りもの) 母の日(カーネーション) アイデアカード 乗りもの(自動車・ミニバイク) 七夕飾りとくす玉 乗りもの(ふね) おままごとNo8-おみせやさんごっこ “折り紙使節”レポート	

● バックナンバーのお申し込み方法

本誌巻末にとじ込みの郵便振替用紙裏面の備考欄に、ご入用の号数と冊数をご記入の上、誌代に送料を添えてご送金ください。当方に到着次第、雑誌をお送りします。

● 送料

第3種郵便物扱い

1冊 55円 2冊 70円 3冊 90円
4冊 105円 5冊 125円 6冊 180円

書籍小包扱い

7・8冊 350円 9～11冊 400円
12～15冊 450円 16～18冊 500円

※ 上記以外の冊数の場合は、「普通小包」になりますのでご注意ください。

なお、お急ぎの場合、または6kgを超える場合には、宅急便扱いにさせていただきます。

(例) 在庫分一揃お申し込みの場合は、誌代合計金額+送料(6kg相当料金)となります。

● 品切れ品について

創刊～64までの各号と、66～80、82、83、85、86、88、90、97、109の各号は「品切れ」となりました。

1978年(昭和53年)発行の15号(2月号)と、1979年(昭和54年)発行21号(2月号)の2種(定価各380円)は、僅かですが残部を用意しています。なお、この号のみ「書籍小包扱い」となっていますので、送料が下記の様になります。ご了承ください。

1冊 200円、2冊 250円、3・4冊 300円

“おりがみ級制度”

「“初級講師”という名は固苦しい」とおっしゃる方や16歳未満の方のために、57年7月号から雑誌“おりがみ”に掲載の作品を対象にした「おりがみ級制度」が発足しました。

《受級資格》

- 現在、日本折紙協会会員で、規定の作品制作点数(15点)を集め終わられた方。
- 年齢・性別は問いませんが、すでに“初級講師”の資格を取得された方、また、それ以上の資格・実力をお持ちの方は除きます。

《受級申請規定》

- 本誌に掲載されている作品で、作品タイトルの左上に☆印のついた3作品のうち、全部または一部を折り上げ、その号の巻末に添付の☆印を切り取って必ず貼付してください。
- あなた独自の創作作品があれば、同様に巻末の★印を貼付してください。
- 星印の点数計算は、☆・★ともに1個1点です。(15点で受級資格ができます)

- 一人て1号につき使用できる☆印は3個★印は1個(計4点)です。他号からの転用はできません。
- 星印が貼付してあっても、同一作品であれば2作でも1作とみなします。
- ★印の使用は、提出作品15作中3作を限度とします。

《例えば……》

- 7月号からスタートして11月号まで、5ヵ月間の指定作品(☆印)全部を折り上げると、点数が15点となり受級申請の資格ができます。
- あなた独自の創作作品がある場合、★印を入れた合計点数が1号4点となるので、受級申請の期限は早まります。
- 5ヵ月以上かけての受級申請も可能です。

《進級》

- 10級からスタートし、最上級は1級です。
- 進級は、各級ともに15点につき1階級進むことができます。
- 送られた作品を審査会で審査し、適当と認められた方には「認定書」が送られます。

《特典》

- 1級資格取得者が16歳以上のとき、または、16歳に達したときに“初級講師”資格の取得申請をする場合、申請料(2,000円)が免除されます。(初級講師資格については、“初級講師用テキスト”をご覧ください)

《受級申請方法》

- 1. 15点分の作品をまとめたもの(各号毎の申請は一切受けません)
- 2. 受級申請書(住所・氏名・年齢・職業・電話番号と、受けようとする級を明記したもの)
- 3. 受級申請者の住所・氏名を明記した返信用封筒1枚(60円切手貼付)
- 4. 受級申請料 500円(郵便切手)
- 上記のものを同封し、下記にお送りください。ただし、受級作品の中に立体のものがある場合は、丈夫な箱をお使いください。
- 40cm×27cm×10cm以内なら定形外郵便物扱いで、それ以外は小包扱いになります。

《送り先》

〒102 東京都千代田区五番町 12
ドミール五番町 1-096
日本折紙協会 事務局 級制度係

外国への“おみやげ”に最適
初級講師の資格も取得できる

折り紙のテキスト

A-4判 48ページ



◆ このテキストの特徴 ◆

日本・スペイン・フランス・イギリスの4か国語解説付です。
折り紙をはじめたい内外の人々に最適の入門書です。
外国へのおみやげとしても大変喜ばれます。
折り紙教室の教材として活用できます。
初級講師の資格が取得できます。
伝承作品を中心とした親しみやすく豊富な内容です。

ORIGAMI TEXT

Overseas Price

¥2,230.-

Postage by sea mail

¥500.-

国内価格 980円

送料 250円

海外価格 2230円

送料 500円

(※船便、梱包・発送等手数料含む)

※お申し込みは、誌代に送料を添えて下記へ……

〒102 東京都千代田区五番町12 ドミール五番町 1-096 日本折紙協会事務局

(なお、送金方法は本誌巻末にのし込みの郵便振替用紙をご利用ください。)

おりがみのほん

趣味の折り紙

桃谷好英・日本折紙協会大阪支部
ナツメ社
A-5 200ページ
980円(〒250円)

おりがみ12か月

岡田歌子
世界文化社
B-5 112ページ
1,500円(〒300円)

創造する 折り紙遊びへの招待

藤本修三・西脇正己
朝日カルチャーセンター
A-5 208ページ
2,500円(〒300円)



ORIGAMIシリーズ

ORIGAMI・1

佐野康博

ORIGAMI・2

山口 真

ゆしまの小林
B-5 48ページ
580円(〒200円)

ほけにまけるな

1・2・3

上野礼子

ばるん舎
B-5 90ページ
1000円(〒250円)

ビバ！ オリガミ

前川 淳・笠原邦彦
サンリオ
B-5 168ページ
2,000円(〒300円)

手づくりの暮らしシリーズ 折形一包む心

荒木真喜雄
文化出版局
B-5変 80ページ
1,000円(〒250円)

折りびな

高濱利恵・山口 真
ゆしまの小林
B-5 68ページ
1,600円(〒250円)

古典折り紙

佐久間八重女
平凡社
A-4変 196ページ
3,600円(〒350円)

京おりがみ

四季を折る

荒木 京
恒星社厚生閣
A-4 124ページ
8,000円(〒350円)

日本折紙協会事務局では、現在これらの書籍を
取り扱っています。お申し込みは、書名を明記の
うえ書代に送料を添えて、事務局まで。
(TEL.03-262-4764 郵便振込・東京1-188035)